

# JVC



LYT2568-001A

## WR-GX001

マリンケース  
取扱説明書

Marine Case  
INSTRUCTIONS

Unterwassergehäuse  
BEDIENUNGSANLEITUNG

Boîtier sous-marin  
MANUEL D'UTILISATION

Onderwaterhuis  
GEBRUIKSAANWIJZING

Carcasa submarina  
MANUAL DE  
INSTRUCCIONES

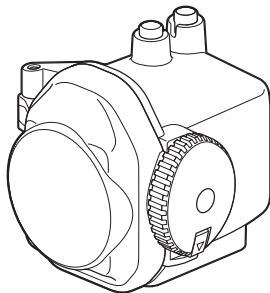
Custodia subacquea  
ISTRUZIONI

Caixa Aquática  
INSTRUÇÕES

Undervattenshus  
BRUKSANVISNING

Бокс для подводной  
съемки  
ИНСТРУКЦИЯ ПО  
ЭКСПЛУАТАЦИИ

Obudowa podwodna  
INSTRUKCJA OBSŁUGI



日本語

ENGLISH

DEUTSCH

FRANÇAIS

NEDERLANDS

CASTE.ESP.

ITALIANO

PORTUGUÊS

SVENSKA

РУССКИЙ

POLSKI

お買い上げありがとうございます。  
この取扱説明書をよくお読みのう  
え、正しくお使いください。

マリンケースは高い水圧の中で  
安全に撮影ができるように設計  
した精密商品です。  
ご使用前の取り扱いとご使用後  
の管理は、本書に基づいて十分に  
配慮してください。

### 安全にご使用いただくために

- ・ Oリングに汚れ・ヒビ割れ・キズなどが無いことを確認しましょう。
- ・ Oリングにはグリスを必ず塗りましょう。
- ・ 密閉するとき、異物をはさみ込んでいないことを確認しましょう。
- ・ マリンケースを持っているときは、静かに水に入りましょう。
- ・ 使用後はマリンケースを必ず真水で洗いましょう。
- ・ Oリングをメンテナンスしましょう。

取り扱い上の不注意により漏水事故を起こした場合、内部機材（ビデオカメラ、SDカードなど）の損傷、および撮影に要した諸費用などについて責任を負いかねます。十分にご注意ください。

### 注意

この表示を無視した取り扱いを  
すると、人が傷害を負う可能性が  
想定される内容、および物的損害  
の発生が想定される内容を示して  
います。

### 使用上のご注意

1. 下記の薬品類を使用しないで  
ください。直接的、または間接  
的（薬剤が気化した状態）に使用  
した場合、高圧下でのひび割れ  
の原因になります。
  - ・ アルコール・ガソリン・シン  
ナーなど（洗浄には真水、ま  
たはぬるま湯を使用します）
  - ・ 防錆剤など（金属部分はステ  
ンレス製およびアルミニウム  
製です。真水で洗浄できます）
  - ・ 一般市販の防曇剤（別売の乾燥  
剤またはメンテナンスキットに  
付属の乾燥剤をご使用ください）
  - ・ 市販のシリコングリス（メン  
テナンスキットに付属のシリ  
コングリスをご使用ください）
  - ・ 接着剤（補修が必要な場合  
は、販売店にご相談ください）
2. マリンケースを岩場や水面な  
どにぶつけたり、衝撃を与えたり  
しないでください。落下などの  
衝撃を与えると破損する場  
合があります。
3. マリンケースを直射日光下、車  
内、船上、海辺などに長時間放  
置しないでください。内部の温  
度が非常に高くなり、内部のカ  
メラが正常に動作しなくなる  
場合があります。

4. 車、船、列車、飛行機で移動する際、マリンケースにビデオカメラをセットしたままにしないでください。カメラをセットして持ち歩くのは、目的地からダイビングポイントまでのような、ごく短時間の場合だけにしてください。
5. 晴天下では使用しないでください。
6. マリンケースの分解や改造、および指定以外の部品の使用をしないでください。漏水事故の原因になります。
7. 本仕様と外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

## 保証とアフターサービス

### ■保証書（別途添付しています）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

### ■性能部品の最低保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、最低5年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ■故障に起因する付随的損害

マリンケースの故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、撮影によって得るであろう利益の損失、精神的な損害など）についての補償には応じかねます。

## 取扱い方法などのご相談

JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

## アフターサービスのご相談

お買い上げの販売店、またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

## JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

 0120-2727-87

- 携帯電話・PHS・一部のIP電話などからのご利用は  
電話：(045) 450-8950
- 月曜～金曜 9:30～18:00
- 土曜 9:30～12:00、  
13:00～17:30
- ・ 日曜祝日、弊社休業日を除く
- ・ 電話番号および受付時間が変更になる場合があります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報、お問い合わせへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ

<http://www3.jvckenwood.com/>

## 株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022  
横浜市神奈川区守屋町3-12

# マリンケースの使いかた

## 1 準備

- ① バックルのノブを上げてロックを解除する
- ② バックルを反時計方向に回して、フロントカバーを開ける

### ご注意

- フロントカバーにキズがつかないように注意してください。

- ③ 本体にキズ・ヒビ割れがないか点検する

- ④ Oリングを点検する

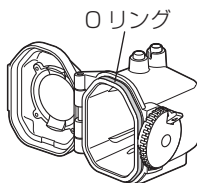
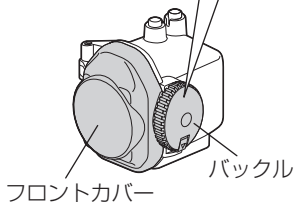
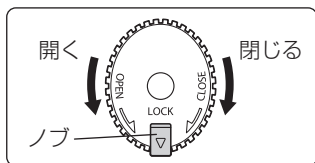
- 異物、キズ、ヒビなどが無いことを確認してください。

### ご注意

- 異物は必ず取り除いてください。
- キズやヒビがある場合は絶対に使わないでください。



取り扱いかたを誤ると  
漏水事故の原因になり  
ます。



- ⑤ 空のまま、バックルを時計方向に回して、フロントカバーを閉じる
  - 必ずバックルのノブを下げて、ロックしてください。
  - ビデオカメラはまだ入れないでください。
  - 異物（ゴミ、髪の毛など）を挟み込んでいないか確認してください。
- ⑥ マリンケースを水に浸ける  
水を張った浴槽や水槽などに浸け、漏水しないことを確認してください。

## 2 装着

- ① バックルのノブを上げてロックを解除する
- ② バックルを反時計方向に回して、フロントカバーを開ける

### ③ ビデオカメラをマリンケースに挿入する

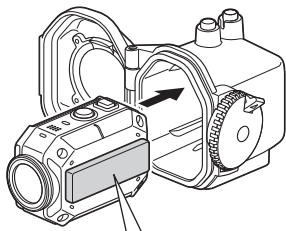
- マリンケース内部に水分が残っていないことを確認してください。
- ビデオカメラのレンズプロテクターははずしてください。

### ④ バックルを時計方向に回して、フロントカバーを閉じる

- 必ずバックルのノブを下げ、ロックしてください。
- 異物（ゴミ、髪の毛など）を挟み込んでいないか確認してください。

#### レンズ面のくもり止め

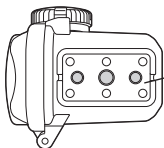
別売の乾燥剤を入れると、くもりの発生を防ぐことができます。



#### 乾燥剤

ビデオカメラの側面に配置してください。

#### 底面



各種マウントを取り付けることができます。

## 3 撮影

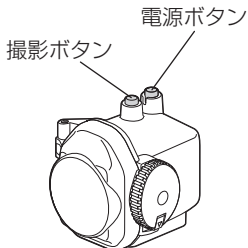
### ① ビデオカメラの電源を入れる

- 電源ボタンを2秒以上押して、電源を入れます。

### ② 撮影ボタンを押す

- 撮影を停止するときには、もう一度ボタンを押します。

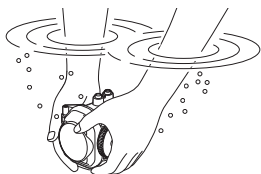
### ③ 撮影が終了したら、電源ボタンを2秒以上押して、電源を切る



## 4 ビデオカメラの取り出し

### ① 真水の入った容器の中でマリンケースを十分に洗う

- ボタンを操作して、隙間に入り込んでいる汚れを洗い落としてください。
- 海で使用した場合、真水に1時間以上浸け、塩抜き処理をしてください。



### ② マリンケースを取り出し、ケース表面の水滴を乾いた布で拭き取る

### ③ フロントカバーを開けて、ビデオカメラを取り出す

#### ご注意

- バックルを開けるときは、フロントカバー側を上に向けてください。フロントカバー側を下に向けたままバックルを開けると、ビデオカメラが飛び出す恐れがあります。
- Oリング・バックル部などの細部に残った水滴が、内部に入らないように注意してください。

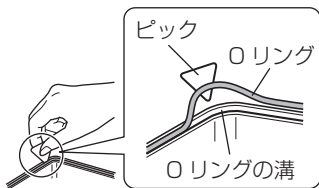


やむを得ず、ダイビングポイントでマリンケースを開けるときは、濡れた髪の毛や体から水滴が落ちないように、十分注意してください。

## マリンケースのメンテナンス

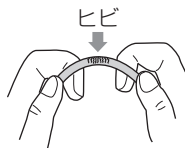
### ① Oリングを取りはずす

- Oリングを取りはずすには、ピックなどを使用し、Oリングや溝を傷つけないように注意してください。



### ② Oリングについた砂やゴミなどの異物を取り除く

- Oリングがはめ込まれていた溝も同様に拭き取ります。
- ヒビはOリングをやさしく折り曲げると確認できます。



**③ 別売のメンテナンスキットに付属のシリコングリスを、Oリングに薄く均等に塗る**

- ・ 長期間使用しないときは、Oリングの変形を避けるため、清潔なポリ袋などに入れて保管してください。

**④ マリンケースの内側と外側を乾いた布で十分に拭く**

- ・ ケースの内側は、けば立ちの少ない布を使用してください。

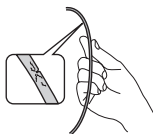
**⑤ 日陰で完全に乾燥させる**



直射日光にさらさないでください。  
マリンケースの変色やOリングの劣化を早める原因になります。

**Oリングの交換**

Oリングは消耗品です。1年ごとに新しいものと交換してください。



**別売アクセサリ**

- ・ 乾燥剤 (WA-AF001)  
3 個入り
- ・ メンテナンスキット (WA-MK001)
  - ・ Oリング (× 1)
  - ・ 乾燥剤 (× 3)
  - ・ シリコングリス (× 1)
  - ・ ピック (× 1)

**主な仕様**

許容耐圧	水深 40 m
操作	電源の入/切 動画の撮影/停止
寸法	76mm × 87mm × 84mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約 140 g

- ご利用になれるビデオカメラ  
GC-XA1

## In order to use this product safely

- Check that there is no dirt, cracks, or damage to the O-ring.
- Always apply grease to the O-ring.
- When tightening the seal, make sure there are no foreign objects caught in the seal.
- When holding the marine case, lower it gently into the water.
- Always wash the marine case in fresh water after use.
- Perform maintenance on the O-ring.

---

If water leaks into the case due to careless use of the marine case, JVC cannot accept responsibility for any damage that may occur to the internal equipment and materials (video camera, SD card, etc), or any expenses incurred in taking the photographs/video. Therefore, please be careful when using the marine case.

## Safety Precaution



**Before use, this unit must be pre-tested to check if there is any water leakage.**

### Please read before use

This marine case is a precision instrument designed to permit safe video recording under high water pressure. Please pay careful attention when handling the unit before and after use, as explained in this user's manual.

Each part of the marine case has been subject to strict controls during the manufacturing process, and the individual functions have faced stringent tests during the assembly process. Each marine case has also had to pass waterproof inspections using high-pressure water testers. However, damage can sometimes occur during transport and distribution, or during storage after purchase, so before diving always carry out the following pre-use test to verify safety.



## Pre-use test

Be sure to perform the following pre-use test before diving.

**1. Before mounting the camera inside the marine case, dive with only the empty marine case and test for water leaks.**

Allow 5 or 6 minutes to ensure there are no leaks.

Be sure to perform this test to ensure the safety of your camera.

**2. The following are some common causes of water leaks:**

- A.** The marine case is used without attaching the O-ring.
- B.** The O-ring is not mounted in the correct position.
- C.** The O-ring is damaged or deformed.
- D.** There is sand, dirt, hair or other foreign matter on the O-ring.
- E.** There is sand, dirt, hair or other foreign matter on the contact surface of the O-ring or on the inside of the lid.
- F.** The strap or drying agent bag is pinched inside the marine case when the lid is closed.

**3. Check that there are no scratches or cracks on the marine case every time you use it.**

The marine case must withstand water pressure with use. Repeated exposure to pressure eventually leads to material fatigue, which may result in damage of the marine case. Every time you use the marine case, check in advance that there are no scratches or cracks. If you frequently use the marine case, be sure to ask for maintenance at the store of purchase. (There is a charge for maintenance.)

To protect your camera and ensure optimum use, keep the examples listed above in mind when using the marine case.

JVC accepts no responsibility for water leakage or damage to anything inside the marine case (camera, SD card, etc.) due to careless usage of this product. Be sure to follow correct procedures when using the marine case.

## Preparation

- 1 Pull up the lock lever to unlock the buckle.**
- 2 Turn the buckle counterclockwise to open the front lid.**

### Caution

- Be sure not to damage the front lid.

- 3 Check the main casing for scratches and cracks.**
- 4 Check the O-ring.**

- Check the O-ring for foreign matter, nicks, cracks, etc.

### Caution

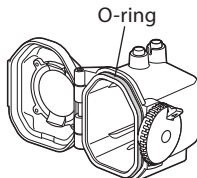
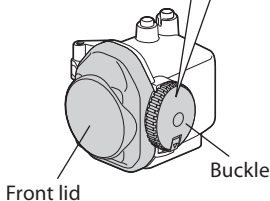
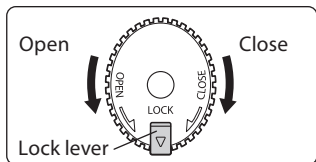
- Be sure to remove any foreign matter from the O-ring.
- Never use the O-ring in case of nicks and cracks.
- Improper handling of the O-ring may cause water leaks.

- 5 Leaving the marine case empty, turn the buckle clockwise to close the front lid.**

- Be sure to push down the lock lever to lock the buckle.
- Do not insert the camera in this step.
- Check that there is no foreign matter (dirt, hair, etc.) caught in the front lid when closing.

- 6 Submerge the marine case under water.**

Submerge the marine case into a bathtub or a container filled with fresh water and check that there are no water leaks.



## Attaching the Marine Case to the Camera

- 1 Pull up the lock lever to unlock the buckle.**
- 2 Turn the buckle counterclockwise to open the front lid.**

**3 Insert the camera into the marine case.**

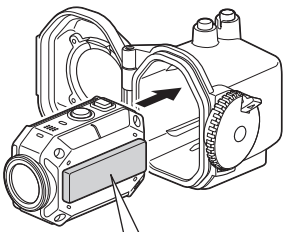
- Make sure that the inside of the marine case is thoroughly dry.
- Remove the lens cover from the camera.

**4 Turn the buckle clockwise to close the front lid.**

- Be sure to push down the lock lever to lock the buckle.
- Check that there is no foreign matter (dirt, hair, etc.) caught in the front lid when closing.

**Antifog for the lens**

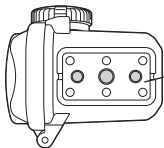
Insert the drying agent sold separately to prevent the camera lens from fogging.



**Drying agent**

Attach the drying agent on the side of the camera.

**Bottom**



Various types of mounts can be attached to the bottom of the marine case.

## Recording the Video Image Files

**1 Turn on the camera.**

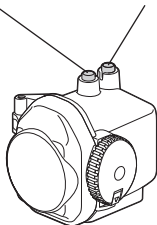
- Press and hold the power button for more than 2 seconds to turn on the camera.

**2 Press the video recording button.**

- Press the button again to stop recording.

**3 When you have finished recording, press and hold the power button for more than 2 seconds to turn off the camera.**

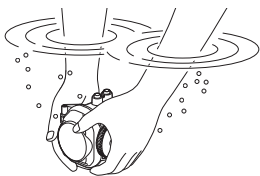
Video recording button      Power button



## Removing the Camera from the Marine Case

### 1 Thoroughly rinse the marine case in a container filled with fresh water.

- Push the buttons while the marine case is submerged and rinse the dirt out from any gaps or grooves.
- If the marine case was used in seawater, submerge the marine case in fresh water for at least 1 hour to remove salt.



### 2 Take the marine case out of the water and wipe off water droplets on the case surface using a dry cloth.

### 3 Open the front lid and remove the camera.

#### Caution

- Turn the buckle with the front lid facing up. The camera may fall out if the buckle is opened with the front lid facing down.
- Make sure that water droplets from parts such as the buckle and O-ring do not get inside the marine case.
- If you cannot avoid opening the marine case at the diving location, pay attention not to let water droplets from your hair or your body get inside the case.

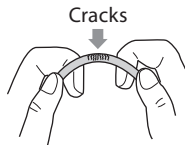
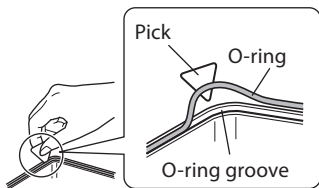
## Maintenance on the Marine Case

### 1 Remove the O-ring.

- Use a pick to remove the O-ring to prevent the O-ring and O-ring groove from being damaged.

### 2 Wipe off any sand, dust, or other foreign matter from the O-ring.

- Clean up the O-ring groove as well.
- Gently bend the O-ring to check for any cracks in the O-ring.



**3 Apply an even and thin layer of the silicone grease included in the maintenance kit sold separately on the O-ring.**

- Keep the O-ring in a clean plastic bag to avoid deformation when you do not use the marine case for a long period of time.

**4 Wipe the inside and outside of the marine case with a dry cloth.**

- Use a lint-free cloth to wipe the inside of the marine case.

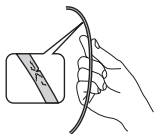
**5 Let the marine case dry completely in a shaded area.**

**Caution**

- Do not leave the marine case in direct sunlight.  
Doing so may cause discoloration of the case, and may cause the O-ring to deteriorate more quickly.

**Replacing the O-ring**

The O-ring is an expendable part. Replace the O-ring with a new one every year.



**Available accessories**

- Drying agent (WA-AF001)  
3 packs
- Maintenance kit (WA-MK001)
  - O-ring x1
  - Drying Agent x3
  - Silicone Grease x1
  - Pick x1

**Specifications**

Maximum pressure	Water depth up to 40 m
Operations	Power on/off Video recording start/stop
Dimensions (W x D x H)	76 mm x 84 mm x 87 mm
Weight	Approx. 140 g

- Applicable camera model  
GC-XA1

## Zur sicheren Verwendung dieses Produkts

- Stellen Sie sicher, dass kein Schmutz am O-Ring haftet und dass er keine Risse oder sonstigen Beschädigungen aufweist.
- Fetten Sie den O-Ring immer ein.
- Stellen Sie beim Festdrehen der Dichtung sicher, dass sich keine Fremdkörper an der Dichtung befinden.
- Halten Sie das Unterwassergehäuse fest und tauchen Sie es vorsichtig ins Wasser ein.
- Waschen Sie das Unterwassergehäuse nach der Verwendung immer mit Frischwasser ab.
- Pflegen und warten Sie den O-Ring.

---

Wenn durch unvorsichtige Verwendung des Unterwassergehäuses Wasser in das Gehäuse gelangt, lehnt JVC jegliche Haftung für etwaige Schäden, die an der darin befindlichen Ausrüstung und Materialien (Videokamera, SD-Karte usw.) auftreten, oder für Kosten, die beim Aufnehmen der Fotos/Videos entstanden sind, ab. Seien Sie daher bei der Verwendung des Unterwassergehäuses bitte vorsichtig.

## Sicherheitsvorkehrungen



**Vor der Verwendung muss dieses Gehäuse getestet werden, um sicherzustellen, dass kein Wasser eindringt.**

### Bitte vor der Verwendung lesen

Bei diesem Unterwassergehäuse handelt es sich um ein Präzisionsinstrument, das sichere Videoaufnahmen bei hohem Wasserdruck ermöglichen soll. Lassen Sie bei der Handhabung vor und nach der Verwendung bitte besondere Sorgfalt walten, wie es in dieser Bedienungsanleitung beschrieben wird. Jeder Teil des Unterwassergehäuses wurde während des Herstellungsprozesses strengen Kontrollen unterzogen und die einzelnen Funktionen wurden während der Fertigung strengen Tests unterzogen. Jedes Unterwassergehäuse hat außerdem mit Hilfe von Hochdruck-Wassertestern einen Test auf die Wasserdichtigkeit bestanden. Allerdings kann es manchmal während des Transports, beim Vertrieb oder bei der Lagerung nach dem Kauf zu Beschädigungen kommen. Daher sollten Sie vor dem Tauchgang immer den folgenden Test durchführen, um sicherzustellen, dass das Gehäuse in Ordnung ist.

## **Test vor der Verwendung**

**Führen Sie den folgenden Test durch, bevor Sie mit dem Gehäuse tauchen.**

### **1. Tauchen Sie mit dem leeren Unterwassergehäuse und achten Sie auf das Eindringen von Wasser, bevor Sie die Kamera in das Gehäuse einsetzen.**

Warten Sie fünf bis sechs Minuten, um sicherzustellen, dass es keine undichten Stellen gibt.

Führen Sie diesen Test unbedingt durch, um die Sicherheit Ihrer Kamera sicherzustellen.

### **2. Die folgenden Punkte sind häufige Ursachen für das Eindringen von Wasser:**

- A.** Das Unterwassergehäuse wird verwendet, ohne dass der O-Ring angebracht ist.
- B.** Der O-Ring ist nicht in der richtigen Position angebracht.
- C.** Der O-Ring ist beschädigt oder verformt.
- D.** Am O-Ring haften Sand, Schmutz, Haare oder andere Fremdkörper.
- E.** An der Kontaktfläche des O-Rings oder an der Innenseite des Deckels haften Sand, Schmutz, Haare oder andere Fremdkörper.
- F.** Der mitgelieferte Gurt oder der Trockenmittelbeutel werden beim Schließen des Deckels im Unterwassergehäuse eingeklemmt.

### **3. Stellen Sie bei jeder Verwendung sicher, dass das Unterwassergehäuse keine Kratzer oder Risse aufweist.**

Das Unterwassergehäuse muss bei der Verwendung dem Wasserdruck standhalten. Wenn das Gehäuse diesem Druck wiederholt ausgesetzt wird, führt dies zu einer Materialermüdung, was zu Schäden am Unterwassergehäuse führen kann. Prüfen Sie bei jeder Verwendung des Unterwassergehäuses im Voraus, dass es keine Kratzer oder Risse aufweist. Wenn Sie das Unterwassergehäuse häufig verwenden, lassen Sie es von dem Händler, bei dem Sie es erworben haben, warten. (Diese Wartung ist kostenpflichtig.)

Beachten Sie die oben aufgeführten Punkte bei der Verwendung des Unterwassergehäuses, um Ihre Kamera zu schützen und eine optimale Verwendung zu gewährleisten.

JVC übernimmt keine Haftung für das Eindringen von Wasser oder Schäden an Ausrüstung im Inneren des Unterwassergehäuses (Kamera, SD-Karte usw.), die durch unvorsichtige Verwendung dieses Produkts entstehen. Achten Sie bei der Verwendung des Unterwassergehäuses auf den richtigen Umgang.

## Vorbereitung

- 1 Schieben Sie den Verriegelungshebel nach oben, um das Schloss zu entsperren.
- 2 Drehen Sie das Schloss entgegen der Uhrzeigerrichtung, um den vorderen Deckel zu öffnen.

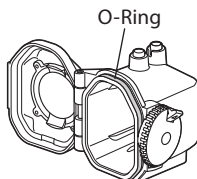
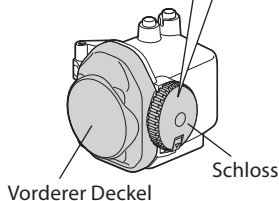
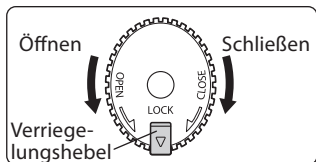
### Vorsicht

- Achten Sie darauf, den vorderen Deckel nicht zu beschädigen.
- 3 Prüfen Sie das Hauptgehäuse auf Kratzer und Risse.
  - 4 Überprüfen Sie den O-Ring.
    - Überprüfen Sie den O-Ring auf Fremdkörper, Kerben, Risse usw.

### Vorsicht

- Achten Sie darauf, jegliche Fremdkörper vom O-Ring zu entfernen.
  - Verwenden Sie niemals einen O-Ring mit Kerben und Rissen.
  - Eine unsachgemäße Handhabung des O-Rings kann zum Eindringen von Wasser führen.
- 5 Lassen Sie das Unterwassergehäuse leer und drehen Sie das Schloss in Uhrzeigerrichtung, um den vorderen Deckel zu schließen.
    - Achten Sie darauf, den Verriegelungshebel nach unten zu schieben, um das Schloss zu sperren.
    - Legen Sie die Kamera in diesem Schritt noch nicht ein.
    - Überprüfen Sie während des Schließens, dass keine Fremdkörper (Schmutz, Haare usw.) in den vorderen Deckel eingeklemmt werden.
  - 6 Tauchen Sie das Unterwassergehäuse in Wasser.

Tauchen Sie das Unterwassergehäuse in eine mit Süßwasser gefüllte Wanne oder einen Container, und prüfen Sie, dass kein Wasser eindringt.



## Einsetzen der Kamera in das Unterwassergehäuse

- 1 Schieben Sie den Verriegelungshebel nach oben, um das Schloss zu entsperren.
- 2 Drehen Sie das Schloss entgegen der Uhrzeigerrichtung, um den vorderen Deckel zu öffnen.



### 3 Setzen Sie die Kamera in das Unterwassergehäuse ein.

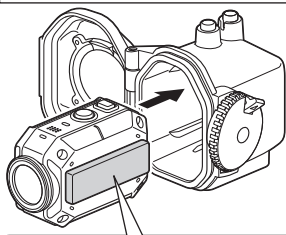
- Stellen Sie sicher, dass das Innere des Unterwassergehäuses völlig trocken ist.
- Nehmen Sie den Objektivdeckel der Kamera ab.

### 4 Drehen Sie das Schloss in Uhrzeigerichtung, um den vorderen Deckel zu schließen.

- Achten Sie darauf, den Verriegelungshebel nach unten zu schieben, um das Schloss zu sperren.
- Überprüfen Sie während des Schließens, dass keine Fremdkörper (Schmutz, Haare usw.) in den vorderen Deckel eingeklemmt werden.

#### Beschlagschutz für das Objektiv

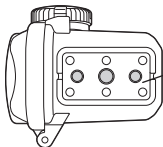
Legen Sie das separat erhältliche Trockenmittel bei, um ein Beschlagen des Kameraobjektivs zu verhindern.



#### Trockenmittel

Befestigen Sie das Trockenmittel an der Seite der Kamera.

#### Unterseite



An der Unterseite des Unterwassergehäuses können verschiedene Arten von Halterungen angebracht werden.

## Aufnehmen von Videobilddateien

### 1 Schalten Sie die Kamera ein.

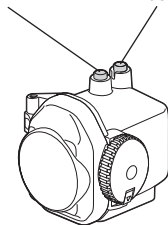
- Drücken und halten Sie die Ein/Aus-Taste für mehr als 2 Sekunden gedrückt, um die Kamera einzuschalten.

### 2 Drücken Sie auf die Videoaufnahme-Taste.

- Drücken Sie erneut auf diese Taste, um die Aufzeichnung zu beenden.

### 3 Drücken und halten Sie die Ein/Aus-Taste für mehr als 2 Sekunden nach dem Beenden der Aufzeichnung gedrückt, um die Kamera auszuschalten.

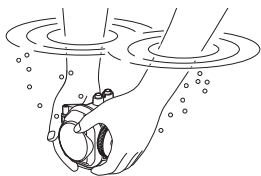
Videoaufnahme-Taste      Ein/Aus-Taste



## Entnehmen der Kamera aus dem Unterwassergehäuse

### 1 Spülen Sie das Unterwassergehäuse in einem mit Süßwasser gefüllten Container sorgfältig ab.

- Drücken Sie die Tasten nach unten, während das Unterwassergehäuse eingetaucht ist, und spülen Sie jeglichen Schmutz aus Rillen oder Fugen.
- Wenn das Unterwassergehäuse in Meerwasser verwendet wurde, tauchen Sie es für mindestens 1 Stunde in Süßwasser, um das Salz zu entfernen.



### 2 Nehmen Sie das Unterwassergehäuse aus dem Wasser und wischen Sie alle Wassertropfen auf der Oberfläche mit einem trockenen Tuch ab.

### 3 Öffnen Sie den vorderen Deckel und entnehmen Sie die Kamera.

#### Vorsicht

- Drehen Sie das Schloss mit nach oben zeigendem vorderen Deckel. Die Kamera könnte herausfallen, wenn das Schloss geöffnet wird, während der vordere Deckel nach unten zeigt.
- Achten Sie darauf, dass keine Wassertropfen von Teilen wie dem Schloss oder O-Ring in das Innere des Unterwassergehäuses gelangen.
- Wenn Sie das Unterwassergehäuse unbedingt am Tauchort öffnen müssen, achten Sie darauf, dass keine Wassertropfen von Ihren Haaren oder Ihrem Körper ins Gehäuseinnere gelangen.

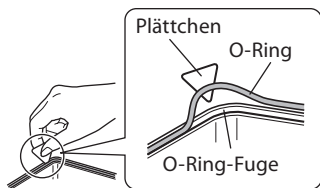
## Pflege des Unterwassergehäuses

### 1 Entfernen Sie den O-Ring.

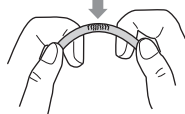
- Verwenden Sie das Plättchen zur Entfernung des O-Rings, um zu verhindern, dass der O-Ring und dessen Fuge beschädigt wird.

### 2 Wischen Sie jeglichen Sand, Staub oder andere Fremdkörper vom O-Ring ab.

- Reinigen Sie auch die O-Ring-Fuge.
- Biegen Sie den O-Ring vorsichtig, um ihn auf eventuelle Risse zu untersuchen.



Risse



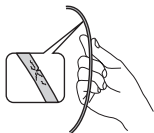
- 3 Tragen Sie eine gleichmäßige und dünne Schicht Silikonfett auf dem O-Ring auf. Das Fett liegt dem Wartungsset bei, welches separat für den O-Ring erworben werden kann.**
- Wenn das Unterwassergehäuse für einen längeren Zeitraum nicht verwendet wird, bewahren Sie den O-Ring in einem sauberen Plastikbeutel auf, um Verformungen zu vermeiden.
- 4 Wischen Sie die Innen- und Außenseite des Unterwassergehäuses mit einem trockenen Tuch ab.**
- Verwenden Sie ein fusselfreies Tuch, um die Innenseiten des Unterwassergehäuses abzuwischen.
- 5 Lassen Sie das Unterwassergehäuse vollständig in einem schattigen Bereich trocknen.**

### Vorsicht

- Lassen Sie das Unterwassergehäuse nicht im direkten Sonnenlicht liegen. Andernfalls kann es zu einer Verfärbung des Gehäuses und zu einer schnelleren Materialermüdung des O-Rings kommen.

### Austauschen des O-Rings

Beim O-Ring handelt es sich um ein Verschleißteil. Ersetzen Sie den O-Ring jedes Jahr durch einen Neuen.



### Verfügbares Zubehör

- Trockenmittel (WA-AF001)  
3 Packungen
- Wartungsset (WA-MK001)
  - O-Ring x1
  - Trockenmittel x3
  - Silikonfett x1
  - Plättchen x1

### Technische Daten

Maximaldruck	Wassertiefen von bis zu 40 m
Bedienung	Strom ein/aus Start/Stopp für Videoaufnahmen
Abmessungen (B x T x H)	76 mm x 84 mm x 87 mm
Gewicht	Ca. 140 g

- Verwendbares Kameramodell  
GC-XA1

## Précautions de sécurité

- Vérifiez qu'il n'y a aucune poussière, fissure ou endommagement au joint torique.
- Veillez à systématiquement graisser le joint torique.
- Lors de la fermeture du sceau, assurez-vous qu'aucun corps étranger n'est coincé dedans.
- Lors de la manipulation du boîtier sous-marin, immergez-le dans l'eau avec précaution.
- Veillez à toujours nettoyer le boîtier sous-marin à l'eau douce après utilisation.
- Effectuez l'entretien du joint torique.

---

En cas de fuite d'eau causée par une utilisation négligente, JVC décline toute responsabilité pour tout dommage pouvant être provoqué à l'équipement interne ou aux équipements (caméscope, cartes SD, etc.) ainsi que pour toute dépense liée à la prise de photos/vidéos. C'est pourquoi il vous est recommandé d'utiliser le boîtier sous-marin avec précaution.

## Précautions de sécurité



**Avant toute utilisation, cet accessoire doit être testé afin de vérifier qu'il n'y ait aucune fuite d'eau.**

### A lire avant toute utilisation

Ce boîtier sous-marin est un instrument de précision conçu pour l'enregistrement vidéo en toute sécurité dans un environnement aquatique à forte pression. Veillez à manipuler cet équipement avec précaution, que ce soit avant ou après son utilisation, tel qu'il est expliqué dans le présent mode d'emploi.

Chaque pièce du boîtier sous-marin a fait l'objet de contrôles strictes pendant le processus de fabrication, et les fonctions individuelles ont passé des tests exigeants au cours du processus d'assemblage. Chaque boîtier sous-marin a également subi des inspections d'étanchéité à l'aide de testeurs d'eau à haute pression. Il arrive cependant parfois qu'un endommagement survienne au cours du transport ou de la distribution, ou après un stockage consécutif à l'achat : c'est pourquoi il vous est recommandé d'effectuer le test suivant avant toute utilisation, afin de vérifier la sécurité du boîtier.

## Test de précaution

**Assurez-vous d'effectuer le test de précaution suivant avant de plonger.**

- 1. Avant de fixer le caméscope dans le boîtier sous-marin, immergez le boîtier seul et vérifiez qu'aucune fuite ne se produit.**

Patiencez pendant 5 à 6 minutes pour vous assurer qu'il n'y a aucune fuite.

Veillez à bien effectuer ce test pour vous assurer de la sécurité de votre caméscope.

- 2. Voici une liste des causes les plus fréquentes de fuites d'eau :**

**A.** Le boîtier sous-marin est utilisé sans que le joint torique n'ait été fixé.

**B.** Le joint torique n'a pas été monté dans le bon sens.

**C.** Le joint torique est endommagé ou déformé.

**D.** Du sable, des poussières, un cheveu ou un autre corps étranger est fixé sur le joint torique.

**E.** Du sable, des poussières, un cheveu ou un autre corps étranger est présent sur le joint torique ou à l'intérieur du couvercle.

**F.** La sangle ou le sachet absorbant d'humidité est coincé à l'intérieur du boîtier sous-marin lors de la fermeture du couvercle.

- 3. Lors de chaque utilisation, vérifiez l'absence de rayure et de fissure du boîtier sous-marin.**

Le boîtier sous-marin doit pouvoir supporter la pression de l'eau pour fonctionner. Des expositions répétées à une pression provoquent à terme une fatigue des matériaux, pouvant causer des dommages au boîtier sous-marin. Avant chaque utilisation du boîtier sous-marin, vérifiez l'absence de rayure et de fissure. Dans le cadre d'une utilisation fréquente, assurez-vous de confier l'entretien à votre revendeur. (Cet entretien est payant.)

Afin de protéger votre caméscope et d'en assurer un fonctionnement optimal, gardez à l'esprit les exemples cités ci-dessus.

JVC décline toute responsabilité pour les fuites et dommages causés au contenu du boîtier sous-marin (caméscope, carte SD, etc.) provoqués par une utilisation négligente de ce produit. Veillez à suivre les procédures correctes lors de l'utilisation du boîtier sous-marin.

## Préparation

- 1 Relevez la commande de verrouillage pour déverrouiller l'attache.**
- 2 Tournez l'attache dans le sens contraire des aiguilles d'une montre pour ouvrir le couvercle avant.**

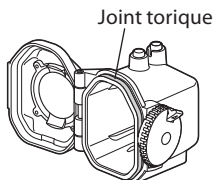
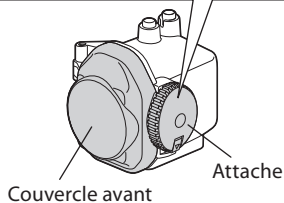
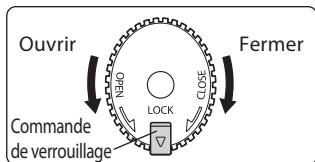
### Avertissement

- Veillez à ne pas endommager le couvercle avant.
- 3 Vérifiez le boîtier principal en recherchant des rayures ou des fissures.**
  - 4 Vérifiez le joint torique.**
    - Vérifiez le joint torique en recherchant des corps étrangers, des entailles, des fissures, etc.

### Avertissement

- Veillez à retirer tout corps étranger du joint torique.
  - N'utilisez jamais le joint torique s'il présente des entailles ou des fissures.
  - Une manipulation incorrecte du joint torique peut provoquer des fuites d'eau.
- 5 Lorsque vous laissez le boîtier sous-marin vide, tournez l'attache dans le sens des aiguilles d'une montre pour fermer le couvercle avant.**
    - Assurez-vous de pousser la commande de verrouillage vers le bas pour verrouiller l'attache.
    - N'insérez pas le caméscope à ce stade.
    - Vérifiez l'absence de corps étranger (poussière, cheveu, etc.) coincé dans le couvercle avant lors de la fermeture.
  - 6 Immergez le boîtier sous-marin dans l'eau.**

Immergez le boîtier sous-marin dans une baignoire ou dans un récipient rempli d'eau douce et vérifiez qu'il n'y a pas de fuites d'eau.



## Fixation du boîtier sous-marin au caméscope

- 1 Relevez la commande de verrouillage pour déverrouiller l'attache.**
- 2 Tournez l'attache dans le sens contraire des aiguilles d'une montre pour ouvrir le couvercle avant.**

### 3 Insérez le caméscope dans le boîtier sous-marin.

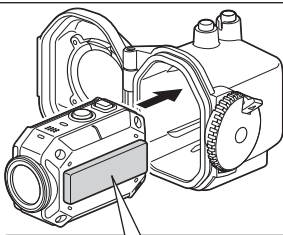
- Assurez-vous que l'intérieur du boîtier sous-marin est complètement sec.
- Retirez le couvre-lentille du caméscope.

### 4 Tournez l'attache dans le sens des aiguilles d'une montre pour fermer le couvercle avant.

- Assurez-vous de pousser la commande de verrouillage vers le bas pour verrouiller l'attache.
- Vérifiez l'absence de corps étranger (poussière, cheveu, etc.) coincé dans le couvercle avant lors de la fermeture.

#### Anti-buée pour la lentille

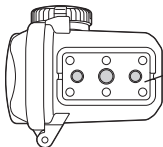
Insérez l'absorbeur d'humidité vendu séparément pour éviter la formation de buée sur la lentille du caméscope.



#### Absorbeur d'humidité

Fixez l'absorbeur d'humidité sur le côté du caméscope.

#### Dessous



Divers types de supports peuvent être fixés sur le dessous du boîtier sous-marin.

## Enregistrement de fichiers vidéo

### 1 Allumez le caméscope.

- Maintenez le bouton d'alimentation appuyé pendant plus de 2 secondes pour allumer le caméscope.

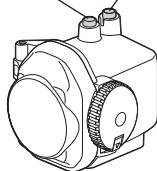
### 2 Appuyez sur le bouton d'enregistrement vidéo.

- Appuyez à nouveau sur le bouton pour arrêter l'enregistrement.

### 3 Lorsque vous avez terminé l'enregistrement, maintenez le bouton d'alimentation appuyé pendant plus de 2 secondes pour éteindre le caméscope.

Bouton d'enregistrement vidéo

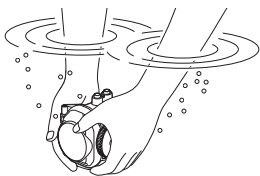
Bouton d'alimentation



## Retrait du caméscope du boîtier sous-marin

### 1 Rincez soigneusement le boîtier sous-marin dans un récipient rempli d'eau douce.

- Appuyez sur les boutons pendant que le boîtier sous-marin est immergé et rincez les corps étrangers présents dans les fentes et les rainures.
- Si le boîtier sous-marin a été utilisé en eau de mer, immergez-le dans de l'eau douce pendant au moins 1 heure pour enlever le sel.



### 2 Retirez le boîtier sous-marin de l'eau et essuyez les gouttelettes d'eau à la surface du boîtier à l'aide d'un chiffon sec.

### 3 Ouvrez le couvercle avant et enlevez le caméscope.

#### Avertissement

- Tournez l'attache lorsque le couvercle est orienté vers le haut. Le caméscope risque de tomber si l'attache est ouverte alors que le couvercle avant est dirigé vers le bas.
- Assurez-vous que les gouttelettes d'eau présentes sur certaines pièces, telles que l'attache ou le joint torique, ne pénètrent pas à l'intérieur du boîtier sous-marin.
- Si vous ne pouvez pas éviter l'ouverture du boîtier sous-marin à l'endroit de plongée, faites attention à ne pas faire tomber les gouttelettes d'eau présentes sur vos cheveux ou votre corps à l'intérieur du boîtier.

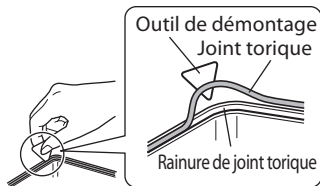
## Entretien du boîtier sous-marin

### 1 Enlevez le joint torique.

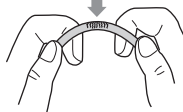
- Utilisez un outil de démontage pour retirer le joint torique afin d'éviter d'endommager le joint torique et la rainure du joint torique.

### 2 Enlevez le sable, la poussière ou tout autre corps étranger qui pourrait se trouver sur le joint torique.

- Nettoyez également la rainure du joint torique.
- Courbez doucement le joint torique pour rechercher d'éventuelles fissures dans le joint torique.



Fissures





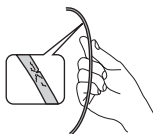
- 3 Appliquez sur le joint torique une couche mince et régulière de graisse de silicone, fournie dans le kit de maintenance vendu séparément.
  - Conservez le joint torique dans un sac en plastique propre afin d'éviter de le déformer lorsque vous n'utilisez pas le boîtier sous-marin pendant une longue durée.
- 4 Séchez l'intérieur et l'extérieur du boîtier sous-marin avec un chiffon sec.
  - Utilisez un chiffon non pelucheux pour sécher l'intérieur du boîtier sous-marin.
- 5 Laissez sécher complètement le boîtier sous-marin dans un endroit à l'ombre.

#### Avertissement

- Ne laissez pas le boîtier sous-marin exposé au rayonnement du soleil. Cela peut provoquer la décoloration du boîtier et accélérer la détérioration du joint torique.

#### Remplacement du joint torique

Le joint torique est une pièce consommable. Remplacez-le par un joint torique neuf tous les ans.



#### Accessoires disponibles

- Absorbant d'humidité (WA-AF001)  
3 packs
- Kit de maintenance (WA-MK001)
  - Joint torique x1
  - Absorbant d'humidité x3
  - Graisse de silicone x1
  - Outil de démontage x1

#### Caractéristiques

Pression maximale	Immersion sous-marine jusqu'à 40 m
Fonctions	Alimentation : marche/arrêt Marche/arrêt d'enregistrement vidéo
Dimensions (L x P x H)	76 mm x 84 mm x 87 mm
Poids	Environ 140 g

- Modèle de caméscope compatible GC-XA1

## Ga als volgt te werk om dit product veilig te gebruiken

- Controleer de O-ring op vuil, barsten en beschadigingen.
- Vet de O-ring altijd in.
- Zorg ervoor dat er niets tussen de sluiting komt als u de behuizing dichtmaakt.
- Dompel het onderwaterhuis voorzichtig onder in het water.
- Spoel het onderwaterhuis na gebruik altijd af met zoet water.
- Pleeg regelmatig onderhoud aan de O-ring.

---

Indien water in de behuizing lekt door onachtzaam gebruik van het onderwaterhuis, accepteert JVC geen verantwoordelijkheid voor schade die kan ontstaan aan de apparatuur en materialen (videocamera, SD-geheugenkaart, enz.) in het onderwaterhuis, of kosten die voortvloeien uit maken van foto's/ video's. Wees daarom voorzichtig bij het gebruik van het onderwaterhuis.

## Veiligheidsvoorschriften



**Dit toestel moet voor gebruik worden getest op lekkage.**

### Lees voor gebruik deze aanwijzingen

Dit onderwaterhuis is een precisie-instrument dat is ontwikkeld om op veilige wijze onderwater video-opnamen te maken bij een hoge waterdruk. Neem de aanwijzingen in deze gebruikershandleiding in acht, bij het hanteren van het toestel voor en na gebruik.

Elk onderdeel van het onderwaterhuis is tijdens het productieproces onderworpen aan strenge controles, en alle functies zijn tijdens de assemblage onderworpen aan zware tests. Elk onderwaterhuis is bovendien getest op waterdichtheid met hoge-druktestapparatuur. Tijdens transport en verspreiding, of tijdens opslag na aankoop, kunnen echter altijd beschadigingen ontstaan. Voer daarom voordat u gaat duiken altijd de volgende test uit om de veiligheid te controleren.

## Test voor gebruik

Voer de volgende test uit voordat u gaat duiken.

### 1. Duik, voordat u de camera in het onderwaterhuis monteert, met het lege onderwaterhuis om het onderwaterhuis te testen op lekken.

Test het onderwaterhuis gedurende 5 tot 6 minuten om zeker te weten dat er geen lekken zijn.

Voer deze test beslist uit om de veiligheid van uw camera te garanderen.

### 2. Veel voorkomende oorzaken van lekkage:

- A. Het onderwaterhuis wordt gebruikt zonder dat de O-ring is gemonteerd.
- B. De O-ring is niet juist gemonteerd.
- C. De O-ring is beschadigd of vervormd.
- D. Er bevindt zich zand, vuil, haren of ander materiaal op de O-ring.
- E. Er bevindt zich zand, vuil, haren of ander materiaal op het contactoppervlak van de O-ring of op de binnenkant van het deksel.
- F. De riem of het zakje met droogmiddel raakt bekneld bij het sluiten van het deksel van het onderwaterhuis.

### 3. Controleer het onderwaterhuis elke keer dat u het gebruikt, op krassen en scheuren.

Het onderwaterhuis moet tijdens gebruik bestand zijn tegen waterdruk. Herhaalde blootstelling aan druk leidt op den duur tot materiaalmoetheid, wat kan resulteren in beschadiging van het onderwaterhuis. Controleer het onderwaterhuis elke keer dat u het gebruikt, vooraf op krassen en scheuren. Maak afspraken voor onderhoud met de winkel waar u het onderwaterhuis hebt gekocht, als u het regelmatig gebruikt. (Aan onderhoud zijn kosten verbonden.)

Neem bij het gebruik van het onderwaterhuis de hiervoor genoemde voorbeelden in acht om uw camera te beschermen en optimaal te profiteren van het onderwaterhuis.

JVC wijst elke verantwoordelijkheid van de hand voor lekkage of schade aan de inhoud van het onderwaterhuis (camera, SD-geheugenkaart, enz.) die het gevolg is van onachtzaam gebruik van het product. Volg de juiste procedures als u het onderwaterhuis gebruikt.

## Vorbereiding

- 1 Trek de vergrendelingsknop omhoog om de sluiting te ontgrendelen.**
- 2 Draai de sluiting tegen de klok in om het voordeksel te openen.**

### Vorzichtig

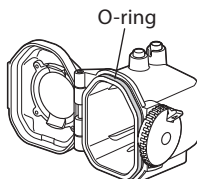
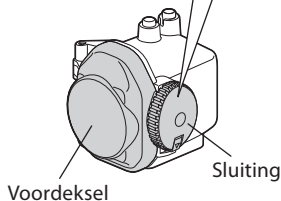
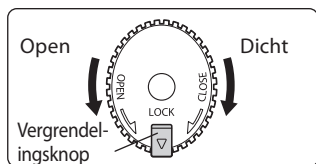
- Beschadig het voordeksel niet.

- 3 Controleer het hoofdbehuizing op krassen en barsten.**
- 4 Controleer de O-ring.**

- Controleer de O-ring op vuil, knikken, barsten, enz.

### Vorzichtig

- Verwijder al het vuil van de O-ring.
- Gebruik de O-ring nooit als die knikken of barsten vertoont.
- Onjuist omgaan met de O-ring kan lekkage veroorzaken.



- 5 Draai de sluiting met de klok mee om het voordeksel van het lege onderwaterhuis te sluiten.**
  - Druk de vergrendelingsknop omlaag om de sluiting te vergrendelen.
  - Plaats de camera bij deze stap nog niet in het onderwaterhuis.
  - Controleer of er bij het sluiten van het voordeksel geen materiaal (vuil, haren enz.) bekneld raakt.
- 6 Dompel het onderwaterhuis onder in water.**

Dompel het onderwaterhuis onder in een badkuip of een bak met zoet water en controleer of er lekkage optreedt.

## Het bevestigen van het onderwaterhuis aan de camera

- 1 Trek de vergrendelingsknop omhoog om de sluiting te ontgrendelen.**
- 2 Draai de sluiting tegen de klok in om het voordeksel te openen.**

### 3 Plaats de camera in het onderwaterhuis.

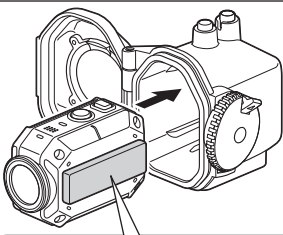
- Zorg ervoor dat de binnenkant van het onderwaterhuis volledig droog is.
- Verwijder de lenskap van de camera.

### 4 Draai de sluiting met de klok mee om het voordeksel te sluiten.

- Druk de vergrendelingsknop omlaag om de sluiting te vergrendelen.
- Controleer of er bij het sluiten van het voordeksel geen materiaal (vuil, haren enz.) bekneld raakt.

#### Anticondens voor de lens

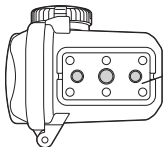
Voeg het afzonderlijk verkrijgbare droogmiddel toe om te voorkomen dat vocht op de lens van de camera condenseert.



#### Droogmiddel

Bevestig het droogmiddel op de zijkant van de camera.

#### Onderkant



De onderkant van het onderwaterhuis biedt verschillende bevestigingsmogelijkheden.

## Het opnemen van videobestanden

### 1 Zet de camera aan.

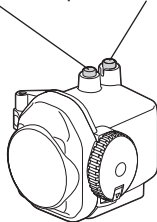
- Druk langer dan 2 seconden op de aan-/uitknop om de camera aan te zetten.

### 2 Druk op de video-opnameknop.

- Druk nogmaals op die knop om de opname te stoppen.

### 3 Druk langer dan 2 seconden op de aan-/uitknop om de camera uit te zetten als u klaar bent met opnemen.

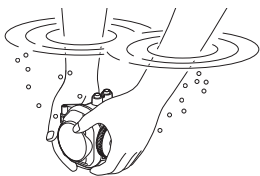
Video-opnameknop      Aan-/uitknop



## De camera uit het onderwaterhuis nemen

### 1 Spoel het onderwaterhuis grondig af in een bak met zoet water.

- Druk op de knoppen terwijl het onderwaterhuis is ondergedompeld en spoel alle vuil uit kieren en naden.
- Dompel het onderwaterhuis gedurende minstens 1 uur onder in zoet water als het onderwaterhuis in zeewater is gebruikt om het zout te verwijderen.



### 2 Haal het onderwaterhuis uit het water en veeg waterdruppels van het oppervlak van de behuizing met een droge doek.

### 3 Open het voordeksel en haal de camera uit het onderwaterhuis.

#### Voorzichtig

- Draai aan de sluiting met het voordeksel omhoog gericht. De camera kan uit het onderwaterhuis vallen als het voordeksel omlaag gericht is.
- Zorg ervoor dat waterdruppels van onderdelen als de sluiting en de O-ring niet in het onderwaterhuis terechtkomen.
- Als het per se noodzakelijk is om het onderwaterhuis te openen op de duikplek, zorg er dan voor dat er geen waterdruppels van uw haar of lichaam in het onderwaterhuis terechtkomen.

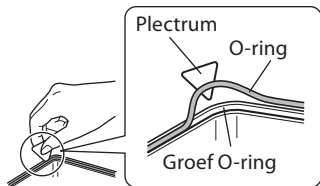
## Onderhoud van het onderwaterhuis

### 1 Verwijder de O-ring.

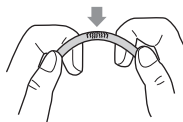
- Gebruik een plectrum om de O-ring te verwijderen om te voorkomen dat de O-ring en de groef van de O-ring beschadigd raken.

### 2 Veeg alle zand, stof en ander materiaal van de O-ring.

- Maak de groef van de O-ring ook schoon.
- Buig de O-ring voorzichtig om hem te controleren op barsten.



Barsten



**3 Breng een gelijkmatig dun laagje siliconenvet uit de afzonderlijk verkrijgbare onderhoudskit aan op de O-ring.**

- Berg de O-ring op in een schone plastic zak om vervorming te voorkomen als u het onderwaterhuis gedurende langere tijd niet gebruikt.

**4 Veeg de binnenkant en de buitenkant van het onderwaterhuis af met een droge doek.**

- Gebruik voor het afvegen van de binnenkant van het onderwaterhuis een pluisvrije doek.

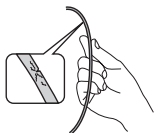
**5 Laat het onderwaterhuis volledig drogen op een plek in de schaduw.**

**Voorzichtig**

- Stel het onderwaterhuis niet bloot aan direct zonlicht. Hierdoor kan het onderwaterhuis verkleuren en kan de O-ring sneller oud worden.

**De O-ring vervangen**

De O-ring is een vervangbaar onderdeel. Vervang de O-ring elk jaar door een nieuw exemplaar.



**Verrijgbare accessoires**

- Droogmiddel (WA-AF001) 3-pakken
- Onderhoudskit (WA-MK001)
  - O-ring x1
  - Droogmiddel x3
  - Siliconenvet x1
  - Plectrum x1

**Specificaties**

Maximale druk	Waterdiepte tot 40 m
Bediening	Aan/uit Video-opname start/stop
Afmetingen (B x D x H)	76 mm x 84 mm x 87 mm
Gewicht	Ca. 140 gr.

- Voor cameramodel GC-XA1

## Para utilizar este producto de forma segura

- Compruebe que no haya suciedad, grietas ni ningún daño en la junta tórica.
- Siempre debe aplicar grasa a la junta tórica.
- Cuando apriete la junta, asegúrese de que no quede atrapado ningún objeto extraño en ella.
- Sujete la carcasa submarina y bájela suavemente hasta el agua.
- Lave siempre la carcasa submarina con agua dulce tras su uso.
- Realice el mantenimiento de la junta tórica.

---

Si entrara agua en la carcasa a causa de un uso descuidado de la carcasa submarina, JVC no puede aceptar ninguna responsabilidad por los daños que puedan producirse en los materiales y en el equipo interno (cámara de vídeo, tarjeta SD, etc.) o por los gastos en los que se incurra en la toma de fotografías/vídeo. Por lo tanto, tenga cuidado cuando utilice la carcasa submarina.

## Precauciones de seguridad



**Antes de utilizar la unidad, se debe comprobar si existe alguna filtración de agua.**

### Antes de su uso lea esta información

Esta carcasa submarina es un instrumento de precisión diseñado para permitir una grabación de vídeo segura bajo una gran presión hidrostática. Preste especial atención durante el manejo de la unidad antes y después de su uso, tal y como se explica en este manual del usuario. Cada pieza de la carcasa submarina se ha sometido a controles estrictos durante el proceso de fabricación y cada función individual se ha sometido a una serie de estrictas pruebas durante el proceso de ensamblado. Asimismo, cada carcasa submarina ha pasado inspecciones de estanqueidad en aparatos de prueba de alta presión hidrostática. Sin embargo, ocasionalmente se puede producir algún daño durante el transporte y la distribución, o durante el almacenamiento tras la compra; así pues, antes de una inmersión siempre se deben realizar las siguientes pruebas previas al uso para comprobar la seguridad.



## **Prueba previa al uso**

**Asegúrese de realizar la siguiente prueba previa al uso antes de la inmersión.**

### **1. Antes de colocar la cámara dentro de la carcasa submarina, sumérgase únicamente con la carcasa submarina para comprobar si hay filtraciones de agua.**

Deje que transcurran 5 ó 6 minutos para asegurarse de que no hay filtraciones.

Asegúrese de realizar esta prueba para garantizar la seguridad de la cámara.

### **2. A continuación se indican algunas causas comunes de filtraciones de agua:**

- A.** Se utiliza la carcasa submarina sin instalar la junta tórica.
- B.** La junta tórica no se ha instalado en la posición correcta.
- C.** La junta tórica está dañada o deformada.
- D.** Hay arena, suciedad, un pelo u otro objeto extraño en la junta tórica.
- E.** Hay arena, suciedad, un pelo u otro objeto extraño en la superficie de contacto de la junta tórica o dentro de la tapa.
- F.** La correa o la bolsa de agente deshidratador proporcionada quedan atrapadas en la carcasa submarina al cerrar la tapa.

### **3. Compruebe que no haya arañazos o grietas en la carcasa submarina cada vez que la utilice.**

La carcasa submarina debe resistir la presión del agua con el uso. Una exposición repetida a la presión acabará provocando una fatiga del material, lo que provocará daños en la carcasa submarina. Cada vez que utilice la carcasa submarina, compruebe con antelación que no haya arañazos o grietas. Si utiliza frecuentemente la carcasa submarina, asegúrese de pedir que realicen el mantenimiento en la tienda donde la compró. (El mantenimiento no es gratuito.)

Para proteger la cámara y garantizar un uso óptimo, tenga en cuenta los ejemplos indicados anteriormente cuando utilice la carcasa submarina.

JVC no acepta ninguna responsabilidad por filtraciones de agua o daños a cualquier elemento que se encuentre dentro de la carcasa submarina (cámara, tarjeta SD, etc.) debido a un uso descuidado de este producto. Asegúrese de seguir los procedimientos correctos cuando utilice la carcasa submarina.

## Preparativos

- 1 Tire hacia arriba de la palanca de bloqueo para desbloquear la hebilla.**
- 2 Gire la hebilla en el sentido contrario a las agujas del reloj para abrir la tapa frontal.**

### Precaución

- Asegúrese de no dañar la tapa frontal.

- 3 Inspeccione la carcasa principal para comprobar si hay arañazos o grietas.**

- 4 Compruebe la junta tórica.**

- Inspeccione la junta tórica para comprobar si hay sustancias extrañas, grietas, hendiduras, etc.

### Precaución

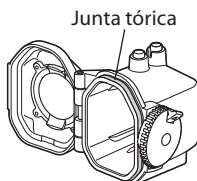
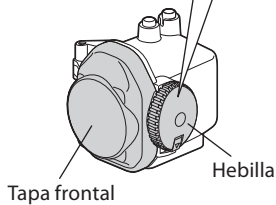
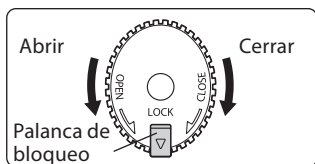
- Asegúrese de retirar cualquier sustancia extraña de la junta tórica.
- Nunca utilice la junta tórica si hay grietas o hendiduras.
- El manejo inadecuado de la junta tórica podría causar fugas de agua.

- 5 Con la carcasa submarina vacía, gire la hebilla en el sentido de las agujas del reloj para cerrar la tapa frontal.**

- Asegúrese de tirar hacia abajo de la palanca de bloqueo para bloquear la hebilla.
- No introduzca aún la cámara en este paso.
- Asegúrese de que no hayan quedado atrapadas sustancias extrañas (suciedad, pelos, etc.) en la tapa frontal al cerrar.

- 6 Sumerja la carcasa submarina.**

Sumerja la carcasa submarina en una bañera o en un recipiente lleno de agua dulce y compruebe que no haya filtraciones de agua.



## Colocación de la cámara en la carcasa submarina

- 1 Tire hacia arriba de la palanca de bloqueo para desbloquear la hebilla.**
- 2 Gire la hebilla en el sentido contrario a las agujas del reloj para abrir la tapa frontal.**

### 3 Inserte la cámara en la carcasa submarina.

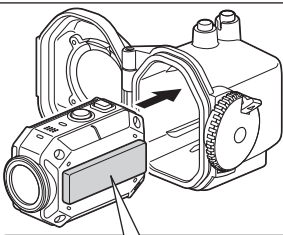
- Asegúrese de que el interior de la carcasa submarina esté completamente seco.
- Extraiga la tapa del objetivo de la cámara.

### 4 Gire la hebilla en el sentido de las agujas del reloj para cerrar la tapa frontal.

- Asegúrese de tirar hacia abajo de la palanca de bloqueo para bloquear la hebilla.
- Asegúrese de que no hayan quedado atrapadas sustancias extrañas (suciedad, pelos, etc.) en la tapa frontal al cerrar.

#### Antivaho para la lente

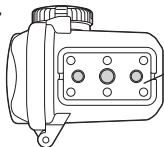
Inserte el agente deshidratador (de venta por separado) para impedir que se empañe la lente de la cámara.



#### Agente deshidratador

Acople el agente deshidratador a la parte lateral de la cámara.

#### Vista inferior



Se pueden acoplar varios tipos de trípodes a la parte inferior de la carcasa submarina.

## Grabación de archivos de vídeo

### 1 Encienda la cámara.

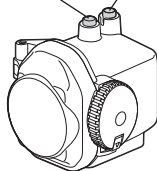
- Mantenga pulsado el botón de encendido durante más de 2 segundos para encender la cámara.

### 2 Pulse el botón de grabación de vídeo.

- Pulse el botón de nuevo para detener la grabación.

### 3 Una vez que haya terminado de grabar, mantenga pulsado el botón de encendido durante más de 2 segundos para apagar la cámara.

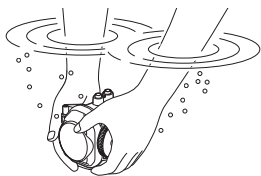
Botón de grabación de vídeo      Botón de encendido



## Extracción de la cámara de la carcasa submarina

### 1 Enjuague a fondo la carcasa submarina en un recipiente lleno de agua dulce.

- Pulse los botones mientras la carcasa submarina está sumergida y aclare la suciedad de cualquier orificio o ranura.
- Si se ha utilizado la carcasa submarina en agua de mar, sumérgjala en agua dulce durante al menos 1 hora para eliminar la sal.



### 2 Saque del agua la carcasa submarina y absorba las gotitas de agua que queden sobre la superficie de la carcasa con un paño seco.

### 3 Abra la tapa frontal y retire la cámara.

#### Precaución

- Gire la hebilla con la tapa frontal apuntando hacia arriba. Es posible que la cámara caiga si la hebilla se abre con la tapa frontal apuntando hacia abajo.
- Asegúrese de que las gotitas de agua de partes tales como la hebilla y la junta tórica no se infiltren en la carcasa submarina.
- Si no puede evitar la apertura de la carcasa submarina en el momento de sumergirse, procure que no caigan gotas de agua de su pelo o de su cuerpo dentro de la carcasa.

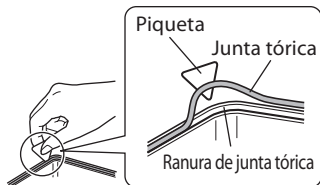
## Mantenimiento de la carcasa submarina

### 1 Extraiga la junta tórica.

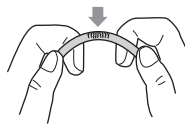
- Utilice una piqueta para extraer la junta tórica, a fin de evitar dañar la junta tórica o su propia ranura.

### 2 Saque cualquier rastro de arena, polvo o sustancias extrañas que pueda haber en la junta tórica.

- Limpie también la ranura de la junta tórica.
- Doble la junta tórica suavemente para comprobar la existencia de cualquier posible grieta.



Grietas



**3 Aplique en la junta tórica una capa uniforme y fina de grasa de silicona incluida en el kit de mantenimiento, que se vende por separado.**

- Cuando no vaya a usar la carcasa submarina durante mucho tiempo, guarde la junta tórica en una bolsa de plástico limpia para impedir que se deforme.

**4 Limpie el interior y el exterior de la carcasa submarina con un paño seco.**

- Limpie el interior de la carcasa submarina con un paño sin pelusa.

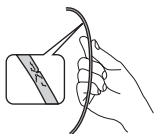
**5 Deje que la carcasa submarina se seque por completo a la sombra.**

**Precaución**

- No deje la carcasa submarina expuesta a la luz directa del sol. Si lo hace, la carcasa puede perder su color y la junta tórica se puede deteriorar más rápidamente.

**Sustitución de la junta tórica**

La junta tórica es una pieza desechable. Sustituya la junta tórica con una nueva cada año.



**Accesorios disponibles**

- Agente deshidratador (WA-AF001)  
3 lotes
- Kit de mantenimiento (WA-MK001)
  - Junta tórica x1
  - Agente deshidratador x3
  - Grasa de silicona x1
  - Piqueta x1

**Especificaciones**

Presión máxima	Profundidad de agua de hasta 40 m
Operaciones	Encendido/apagado Inicio/parada de grabación de vídeo
Dimensiones (Anchura x Fondo x Altura)	76 mm x 84 mm x 87 mm
Peso	Aprox. 140 g

- Modelo de cámara compatible GC-XA1

## Per utilizzare questo prodotto in sicurezza

- Verificare che non siano presenti sporco, spaccature o danni sulla guarnizione circolare.
- Applicare sempre del grasso sulla guarnizione circolare.
- Quando si serra la chiusura ermetica, assicurarsi che non vi restino incastrati corpi estranei.
- Quando si mantiene la custodia subacquea, immergerla delicatamente nell'acqua.
- Lavare sempre la custodia subacquea in acqua dolce dopo l'uso.
- Eseguire la manutenzione della guarnizione circolare.

---

Qualora dell'acqua penetri nella custodia a causa di un uso improprio della custodia subacquea, JVC non si assume alcuna responsabilità per eventuali danni che potrebbero verificarsi all'apparecchio e ai materiali in essa contenuti (Media camera, scheda SD, ecc.) o per eventuali spese sostenute per riprendere le fotografie o i filmati. Pertanto, prestare attenzione nell'utilizzo della custodia subacquea.

## Precauzione per la sicurezza



**Prima dell'uso, questa unità deve essere sottoposta a collaudo preliminare per verificare la presenza di eventuali infiltrazioni d'acqua.**

### Leggere prima dell'uso

Questa custodia subacquea è uno strumento di precisione progettato per consentire la videoregistrazione in sicurezza in condizioni di alta pressione dell'acqua. Prestare particolare attenzione nella gestione dell'unità prima e dopo l'uso, come illustrato in questo manuale d'uso. Ciascun componente della custodia subacquea è stato sottoposto a rigorosi controlli durante la procedura di fabbricazione, e le singole funzioni hanno affrontato severi collaudi durante la procedura di assemblaggio. Ciascuna custodia subacquea ha dovuto anche superare ispezioni sull'impermeabilità mediante apparecchiature di collaudo con acqua ad alta pressione. Tuttavia, è possibile che si verifichino dei danni durante il trasporto e la distribuzione, oppure durante la conservazione successivamente all'acquisto; pertanto, prima delle immersioni, occorre sempre effettuare il seguente test preliminare d'uso, per verificare la sicurezza.

## Test preliminare d'uso

**Assicurarsi di effettuare il test preliminare d'uso seguente prima di un'immersione.**

### 1. Prima di montare la Media camera all'interno della custodia subacquea, immergersi con la custodia vuota e verificarne la tenuta stagna.

Attendere 5 o 6 minuti per accertarsi che non vi siano infiltrazioni d'acqua.

Effettuare sempre questo test per assicurare la protezione della Media camera.

### 2. Di seguito sono indicate alcune cause comuni di infiltrazioni d'acqua:

- A. La custodia subacquea viene utilizzata senza aver installato la guarnizione circolare.
- B. La guarnizione circolare non è montata nella posizione corretta.
- C. La guarnizione circolare è danneggiata o deformata.
- D. Sono presenti sabbia, sporco, capelli o altri corpi estranei sulla guarnizione circolare.
- E. Sono presenti sabbia, sporco, capelli o altri corpi estranei sulla superficie di contatto della guarnizione circolare, o all'interno dello sportello.
- F. La cinghietta o la bustina essiccante è rimasta incastrata all'interno della custodia subacquea quando è stato chiuso lo sportello.

### 3. Prima di ogni utilizzo della custodia subacquea, verificare che quest'ultima non presenti graffi o spaccature.

La custodia subacquea deve sopportare la pressione dell'acqua durante l'uso. Un'esposizione ripetuta alla pressione col tempo porta all'usura dei materiali, che potrebbe produrre dei danni alla custodia subacquea. Ogni volta che si utilizza la custodia subacquea, controllare in precedenza che non siano presenti graffi o spaccature. Se si utilizza la custodia subacquea frequentemente, assicurarsi di sottoporla a manutenzione presso il punto di acquisto. (La manutenzione è a pagamento.)

Per proteggere la Media camera ed assicurare un utilizzo ottimale, tenere presenti gli esempi elencati sopra quando si utilizza la custodia subacquea.

JVC non si assume alcuna responsabilità per infiltrazioni d'acqua o danni a qualsiasi oggetto contenuto all'interno della custodia subacquea (Media camera, scheda SD, ecc.) dovuti ad uso improprio di questo prodotto. Assicurarsi di seguire le procedure corrette quando si utilizza la custodia subacquea.

## Preparazione

- 1 Tirare la leva di blocco per sbloccare la fibbia.**
- 2 Ruotare la fibbia in senso antiorario per aprire il coperchio anteriore.**

### Attenzione

- Fare attenzione a non danneggiare il coperchio anteriore.

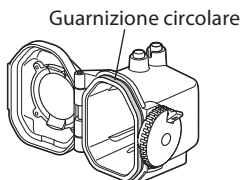
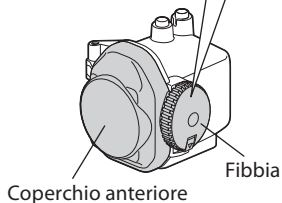
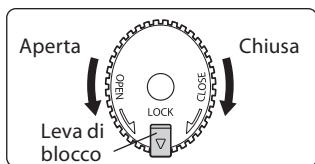
- 3 Verificare che non siano presenti graffi e spaccature sulla custodia principale.**
- 4 Controllare la guarnizione circolare.**
  - Verificare se la guarnizione circolare presenta impurità, incrinature, spaccature ecc.

### Attenzione

- Assicurarsi di rimuovere qualsiasi impurità dalla guarnizione circolare.
- Non usare in nessun caso la guarnizione circolare se presenta incrinature e spaccature.
- Un uso improprio della guarnizione circolare potrebbe causare infiltrazioni d'acqua.

- 5 Lasciando vuota la custodia subacquea, ruotare la fibbia in senso orario per chiudere il coperchio anteriore.**
  - Spingere verso il basso la leva di blocco per fissare in posizione la fibbia.
  - Non inserire ancora la Media camera.
  - Verificare che non siano presenti impurità (sporcizia, peli ecc.) nel coperchio anteriore quando lo si chiude.
- 6 Immergere la custodia subacquea nell'acqua.**

Immergere la custodia subacquea in una vasca da bagno o in un contenitore pieno d'acqua dolce e verificare che non vi siano infiltrazioni.



## Montaggio della custodia subacquea sulla Media camera

- 1 Tirare la leva di blocco per sbloccare la fibbia.**
- 2 Ruotare la fibbia in senso antiorario per aprire il coperchio anteriore.**



### 3 Inserire la Media camera nella custodia subacquea.

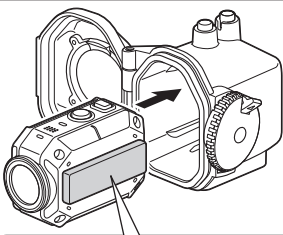
- Assicurarsi che l'interno della custodia subacquea sia completamente asciutto.
- Rimuovere il copriobiettivo dalla Media camera.

### 4 Ruotare la fibbia in senso orario per chiudere il coperchio anteriore.

- Spingere verso il basso la leva di blocco per fissare in posizione la fibbia.
- Verificare che non siano presenti impurità (sporcizia, peli ecc.) nel coperchio anteriore quando lo si chiude.

#### Antiappannamento per l'obiettivo

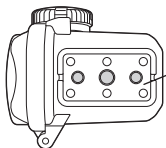
Inserire la bustina essiccante (venduta a parte) per impedire che l'obiettivo della Media camera si appanni.



#### Bustina essiccante

Fissare la bustina essiccante sul lato della Media camera.

#### Lato inferiore



È possibile collegare vari tipi di supporti sul lato inferiore della custodia subacquea.

## Registrazioni di file di filmati

### 1 Accendere la Media camera.

- Tenere premuto il pulsante di accensione per più di 2 secondi per accendere la Media camera.

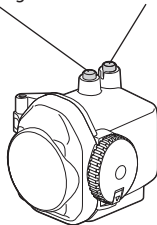
### 2 Premere il pulsante di videoregistrazione.

- Premere di nuovo il pulsante per arrestare la registrazione.

### 3 Una volta terminata la registrazione, tenere premuto il pulsante di accensione per più di 2 secondi per spegnere la Media camera.

Pulsante di videoregistrazione

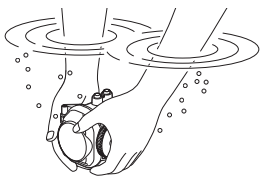
Pulsante di accensione



## Rimozione della Media camera dalla custodia subacquea

### 1 Sciacquare a fondo la custodia subacquea in un contenitore pieno di acqua dolce.

- Premere i pulsanti mentre la custodia subacquea è sommersa e togliere la sporcizia da fori e scanalature.
- Se la custodia subacquea è stata usata in acqua di mare, immergerla in acqua dolce per almeno 1 ora per rimuovere il sale.



### 2 Togliere la custodia subacquea dall'acqua e asciugare le gocce sulla superficie della custodia con un panno asciutto.

### 3 Aprire il coperchio anteriore e rimuovere la Media camera.

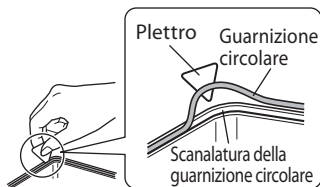
#### Attenzione

- Ruotare la fibbia tenendo il coperchio anteriore rivolto verso l'alto. La Media camera potrebbe cadere se si apre la fibbia tenendo il coperchio anteriore rivolto verso il basso.
- Assicurarci che le gocce d'acqua presenti sulla fibbia o sulla guarnizione circolare non entrino nella custodia subacquea.
- Se si è obbligati ad aprire la custodia subacquea nel luogo in cui si è effettuata l'immersione, evitare che nella custodia entrino gocce d'acqua presenti sui capelli o sul corpo.

## Manutenzione della custodia subacquea

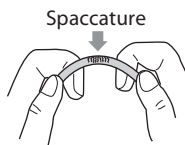
### 1 Rimuovere la guarnizione circolare.

- Usare un plettro per rimuovere la guarnizione circolare, facendo attenzione a non danneggiare la guarnizione circolare e la relativa scanalatura.



### 2 Rimuovere eventuali residui di sabbia, polvere o altri corpi estranei dalla guarnizione circolare.

- Pulire anche la scanalatura della guarnizione circolare.
- Piegarla con delicatezza e verificare se presenta spaccature.



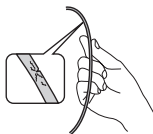
- 3 Applicare sulla guarnizione circolare un leggero strato uniforme di grasso siliconico, incluso nel kit di manutenzione in vendita separatamente.**
  - Conservare la guarnizione circolare in una bustina di plastica pulita per evitare deformazioni qualora non si utilizzi la custodia subacquea per lungo tempo.
- 4 Pulire l'interno e l'esterno della custodia subacquea con un panno asciutto.**
  - Usare un panno privo di pelucchi per pulire l'interno della custodia subacquea.
- 5 Lasciare asciugare completamente la custodia subacquea in una zona ombreggiata.**

#### Attenzione

- Non lasciare la custodia subacquea esposta alla luce solare diretta. Ciò potrebbe causare lo scolorimento della custodia e accelerare il deterioramento della guarnizione circolare.

#### Sostituzione della guarnizione circolare

La guarnizione circolare è un componente consumabile. Sostituire la guarnizione circolare con una nuova ogni anno.



#### Accessori disponibili

- Bustina essiccante (WA-AF001)  
Confezione da 3
- Kit di manutenzione (WA-MK001)
  - Guarnizione circolare x1
  - Bustina essiccante x3
  - Grasso siliconico x1
  - Plettro x1

#### Specifiche tecniche

Pressione massima	Profondità fino a 40 m
Operazioni	Accensione/spengimento Avvio/arresto della videoregistrazione
Dimensioni (L x P x A)	76 mm x 84 mm x 87 mm
Peso	Circa 140 g

- Modello di Media camera applicabile GC-XA1

## Para utilizar este produto com segurança

- Verifique se não existe sujidade, fissuras ou danos no O-ring.
- Aplique sempre massa lubrificante no O-ring.
- Quando apertar o vedante, certifique-se de que não existem corpos estranhos no vedante.
- Quando segurar na caixa aquática, baixe-a suavemente para dentro de água.
- Lave sempre a caixa aquática em água doce após utilizar.
- Efectue a manutenção do O-ring.

---

Se entrar água para dentro da caixa devido a uma utilização incorrecta da caixa aquática, a JVC não pode aceitar responsabilidade por quaisquer danos que ocorram no equipamento interno e nos materiais (câmara de vídeo, cartões SD, etc.) ou quaisquer despesas incorridas ao tirar as fotografias/filmar. Assim, tome medidas de precaução quando utilizar a caixa aquática.

## Precauções de segurança



**Antes de utilizar, a unidade deve ser pré-testada para verificar se existem fugas de água.**

### Leia antes de utilizar

Esta caixa aquática é um instrumento de precisão concebido para permitir uma gravação segura de vídeo em condições de alta pressão de água. Tome precauções adicionais quando manusear a unidade antes e depois de utilizar, tal como explicado neste manual do utilizador.

Cada parte da caixa aquática foi sujeita a controlos de qualidade rigorosos durante o processo de fabrico e as funções individuais foram testadas rigorosamente durante o processo de montagem. Cada caixa aquática também teve de passar inspecções de prova de água utilizando jactos de água de alta pressão. No entanto, podem por vezes ocorrer danos durante o transporte e distribuição ou durante o armazenamento após a compra. Por essa razão, efectue sempre o seguinte teste de préutilização, para verificar a segurança.

## Teste de pré-utilização

**Certifique-se de que efectua o seguinte teste de pré-utilização antes de mergulhar.**

### **1. Antes de montar a câmara no interior da caixa aquática, mergulhe com a caixa aquática vazia e verifique a existência de fugas de água.**

Aguarde 5 ou 6 minutos para garantir que não existem fugas. Certifique-se de que efectua este teste para garantir a segurança da câmara.

### **2. A seguir são apresentadas algumas causas comuns das fugas de água:**

- A.** A caixa aquática é utilizada sem colocar o O-ring.
- B.** O O-ring não está colocado na posição correcta.
- C.** O O-ring está danificado ou deformado.
- D.** Existe areia, sujidade, cabelos ou outros corpos estranhos no O-ring.
- E.** Existe areia, sujidade, cabelos ou outros corpos estranhos na superfície de contacto do O-ring ou no interior da tampa.
- F.** A alça ou o saco de desidratante estão trilhados no interior da caixa aquática ao fechar a tampa.

### **3. Verifique se não existem arranhões ou fissuras na caixa aquática de cada vez que a utilizar.**

A caixa aquática deve suportar a pressão da água durante a utilização. A exposição contínua à pressão leva eventualmente à fadiga do material, o que poderá resultar em danos na caixa aquática. De cada vez que utilizar a caixa aquática, verifique previamente se não existem arranhões ou fissuras. Se utilizar a caixa aquática com frequência, certifique-se de que efectua a manutenção na loja onde a adquiriu. (A manutenção constitui um serviço pago.)

Para proteger a sua câmara e garantir uma utilização ideal, tenha em consideração os exemplos indicados em cima quando utilizar a caixa aquática.

A JVC não aceita qualquer responsabilidade por fugas de água ou danos em equipamentos que se encontrem no interior da caixa aquática (câmara, cartão SD, etc.) devido a uma utilização descuidada deste produto. Certifique-se de que segue os procedimentos correctos quando utilizar a caixa aquática.

## Preparação

- 1** Puxe a patilha de bloqueio para cima para desbloquear a fivela.
- 2** Rode a fivela no sentido contrário ao dos ponteiros do relógio para abrir a tampa frontal.

### Atenção

- Certifique-se de que não danifica a tampa frontal.

- 3** Inspeccione a caixa principal para verificar se existem riscos e fissuras.

- 4** Verifique o O-ring.

- Verifique se o O-ring apresenta corpos estranhos, cortes, fissuras, etc.

### Atenção

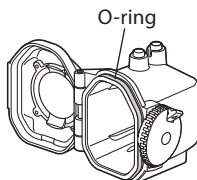
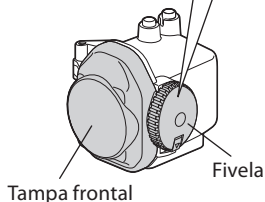
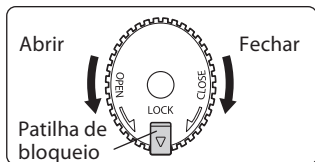
- Certifique-se de que remove quaisquer corpos estranhos do O-ring.
- Nunca utilize o O-ring em caso de cortes e fissuras.
- Um manuseamento incorrecto do O-ring poderá causar fugas de água.

- 5** Deixando a caixa aquática vazia, rode a fivela no sentido dos ponteiros do relógio para fechar a tampa frontal.

- Certifique-se de que empurra a patilha de bloqueio para baixo para bloquear a fivela.
- Não insira a câmara neste passo.
- Certifique-se de que não há corpos estranhos (areia, cabelos, etc.) presos na tampa frontal quando a fechar.

- 6** Mergulhe a caixa aquática em água.

Mergulhe a caixa aquática numa banheira ou num recipiente com água doce e certifique-se de que não há fugas de água.



## Fixar a caixa aquática à câmara

- 1** Puxe a patilha de bloqueio para cima para desbloquear a fivela.
- 2** Rode a fivela no sentido contrário ao dos ponteiros do relógio para abrir a tampa frontal.

### 3 Introduza a câmara na caixa aquática.

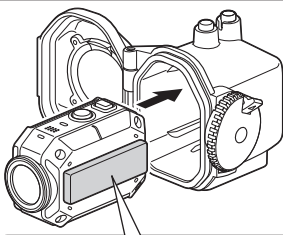
- Certifique-se de que o interior da caixa aquática está devidamente seco.
- Retire a tampa da lente da câmara.

### 4 Rode a fivela no sentido dos ponteiros do relógio para fechar a tampa frontal.

- Certifique-se de que empurra a patilha de bloqueio para baixo para bloquear a fivela.
- Certifique-se de que não há corpos estranhos (areia, cabelos, etc.) presos na tampa frontal quando a fechar.

#### Anti-embaciamento para a lente

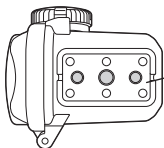
Introduza o desidratante, vendido separadamente, para prevenir o embaciamento da lente da câmara.



#### Desidratante

Fixe o desidratante à parte lateral da câmara.

#### Base



Podem fixar-se vários tipos de suportes à base da caixa aquática.

## Gravar ficheiros de imagens de vídeo

### 1 Ligue a câmara.

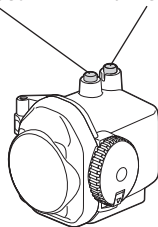
- Prima e mantenha premido o botão de alimentação durante mais de 2 segundos para ligar a câmara.

### 2 Prima o botão de gravação de vídeo.

- Prima novamente o botão para interromper a gravação.

### 3 Quando tiver acabado de gravar, prima e mantenha premido o botão de alimentação durante mais de 2 segundos para desligar a câmara.

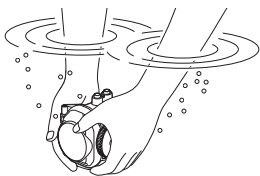
Botão de gravação de vídeo      Botão de alimentação



## Remoção da câmara da caixa aquática.

### 1 Enxágue bem a caixa aquática num recipiente com água doce.

- Prima os botões enquanto a caixa aquática estiver dentro de água e retire a sujidade de quaisquer entalhes ou ranhuras.
- Se a caixa aquática tiver sido utilizada em água do mar, mergulhe a caixa aquática em água doce durante pelo menos 1 hora para remover o sal.



### 2 Retire a caixa aquática da água e limpe as gotas de água da superfície da caixa com um pano seco.

### 3 Abra a tampa frontal e retire a câmara.

#### Atenção

- Rode a fivela com a tampa frontal virada para cima. A câmara poderá cair se abrir a fivela com a tampa frontal virada para baixo.
- Certifique-se de que gotas de água de partes como a fivela e o O-ring não penetram no interior da caixa aquática.
- Se não puder evitar abrir a caixa aquática no ponto de mergulho, não deixe que quaisquer gotas de água do seu cabelo ou corpo caiam no interior na caixa.

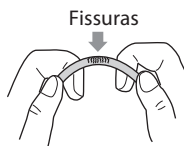
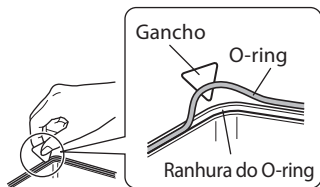
## Manutenção da caixa aquática

### 1 Retire o O-ring.

- Utilize um gancho para retirar o O-ring para prevenir danos no O-ring e na ranhura do O-ring.

### 2 Elimine quaisquer vestígios de areia, pó ou quaisquer outros corpos estranhos do O-ring.

- Limpe também a ranhura do O-ring.
- Dobre delicadamente o O-ring para ver se ele apresenta fissuras.





**3 Aplique no O-ring uma camada fina e uniforme da gordura de silicone incluída no kit de manutenção vendido separadamente.**

- Mantenha o O-ring num saco de plástico limpo para evitar deformações quando não utilizar a caixa aquática durante um longo período de tempo.

**4 Limpe o interior e o exterior da caixa aquática com um pano seco.**

- Utilize um pano sem pêlo para limpar o interior da caixa aquática.

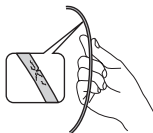
**5 Deixe a caixa aquática secar completamente num local à sombra.**

**Atenção**

- Não deixe a caixa aquática exposta à luz solar directa. Caso contrário, poderá provocar uma descoloração na caixa e poderá fazer com que o O-ring se desgaste mais rapidamente.

**Substituição do O-ring**

O O-ring é uma peça consumível. Substitua o O-ring por um novo todos os anos.



**Acessórios disponíveis**

- Desidratante (WA-AF001)  
3 embalagens
- Kit de manutenção (WA-MK001)
  - O-ring x1
  - Desidratante x3
  - Gordura de silicone x1
  - Gancho x1

**Especificações**

Pressão máxima	Profundidade de água até 40 m
Operações	Ligar/desligar Iniciar/parar a gravação de vídeo
Dimensões (L x P x A)	76 mm x 84 mm x 87 mm
Peso	Aprox. 140 g

- Modelo de câmara aplicável  
GC-XA1

## För säker användning av produkten

- Kontrollera att O-ringen inte är smutsig och att det inte finns några sprickor eller andra skador på den.
- Smörj alltid O-ringen.
- När du skruvar åt tätningen, se till att inga föremål fastnar.
- Håll fast undervattenshuset och sänk ner det långsamt i vattnet.
- Rengör alltid undervattenshuset med sötvatten efter användning.
- Underhåll O-ringen.

---

JVC ansvarar inte för skada på utrustning och material (videokamera, SD-kort m.m.) eller för utgifter för fotografering eller videoinspelning om vatten läcker in i undervattenshuset på grund av oförsiktig användning. Det är därför viktigt att vara försiktig vid användning av undervattenshuset.

## Säkerhetsåtgärder



**Det är viktigt att kontrollera att undervattenshuset inte läcker vatten före användning.**

### Läs detta före användning

Undervattenshuset är ett precisionsinstrument för säker videoinspelning under högt vattentryck. Hantera undervattenshuset mycket försiktigt före och efter användning, på det sätt som förklaras i denna bruksanvisning. Samtliga delar av undervattenshuset har gått igenom strikta kontroller under tillverkningsprocessen och de olika funktionerna har testats noggrant under monteringen. Samtliga undervattenshus har också undergått högtrycksinspektion för vattentäthet. Trots detta kan skada uppkomma under transport och distribution eller då undervattenshuset förvaras efter köpet, och det är därför viktigt att utföra följande test före dykning för att kontrollera säkerheten.

## Test före användning

Var noggrann med att utföra följande test före dykning.

### 1. Testa om undervattenshuset läcker genom att dyka med enbart huset innan du monterar kameran i det.

Vänta 5 eller 6 minuter för att vara säker på att det inte finns några läckor.

Det är viktigt att utföra testet för att se till att kameran inte skadas.

### 2. Det här är några vanliga orsaker till läckage:

- A. Undervattenshuset används utan att O-ringen har satts fast.
- B. O-ringen har inte monterats på rätt plats.
- C. O-ringen är skadad eller defekt.
- D. Det finns sand, smuts, hår eller annat på O-ringen.
- E. Det finns sand, smuts, hår eller annat på O-ringens kontaktyta eller på lockets insida.
- F. Remmen eller torkenhetspåsen fastnade på insidan av undervattenshuset när locket stängdes.

### 3. Kontrollera före varje användning att det inte finns några repor eller sprickor på undervattenshuset.

Undervattenshuset måste kunna motstå vattentryck vid användning. Om produkten kontinuerligt utsätts för tryck kan det leda till att tillverkningsmaterialet försvagas, vilket i sin tur kan leda till skador på undervattenshuset. Kontrollera före varje användning att det inte finns några repor eller sprickor på undervattenshuset. Om du använder undervattenshuset ofta bör du rådfråga personalen på inköpsstället om underhåll. (Underhåll kan erbjudas mot ersättning.)

För att skydda kameran och för att den skall kunna användas optimalt är det viktigt att komma ihåg exemplen ovan vid användning av undervattenshuset.

JVC ansvarar inte för vattenläckage eller skada på utrustning inuti undervattenshuset (kamera, SD-kort, m.m.) på grund av oförsiktig användning av produkten. Det är viktigt att noggrant utföra alla åtgärder vid användning av undervattenshuset.

## Förberedelse

- 1 Dra upp låsspaken för att låsa upp spännet.
- 2 Vrid spännet moturs för att öppna det främre locket.

### Observera

- Se till att inte skada det främre locket.

- 3 Kontrollera att det inte finns några repor eller sprickor på höljet.

- 4 Kontrollera O-ringen.

- Kolla efter främmande ämnen, hack, sprickor eller liknande på O-ringen.

### Observera

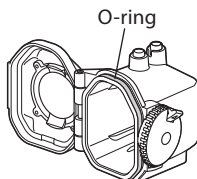
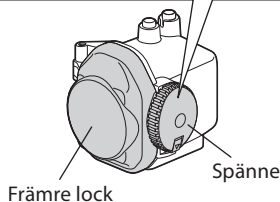
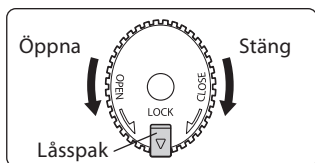
- Se till att avlägsna alla främmande ämnen från O-ringen.
- Använd aldrig O-ringen om det finns hack eller sprickor.
- Felaktig hantering av O-ringen kan orsaka vattenläckage.

- 5 Om du lämnar undervattenshuset tomt, vrid spännet medurs för att stänga det främre locket.

- Se till att trycka ner låsspaken för att låsa spännet.
- För inte in kameran i det här steget.
- Kolla så att det inte finns något främmande ämne (smuts, hår, eller liknande) som sitter fast i det främre locket när du stänger.

- 6 Sänk ner undervattenshuset under vatten.

Sänk ner undervattenshuset i ett badkar eller en behållare som fyllts med rent sötvatten och kolla så att det inte finns några vattenläckage.



## Att sätta fast undervattenshuset vid kameran

- 1 Dra upp låsspaken för att låsa upp spännet.
- 2 Vrid spännet moturs för att öppna det främre locket.

### 3 Sätt in kameran i undervattenshuset.

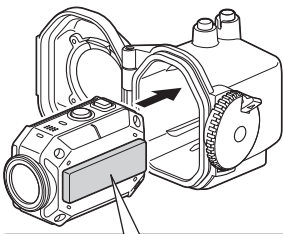
- Se till så att insidan av undervattenshuset är helt torrt.
- Avlägsna linsskyddet från kameran.

### 4 Vrid spännet medurs för att stänga det främre locket.

- Se till att trycka ner låsspaken för att låsa spännet.
- Kolla så att det inte finns något främmande ämne (smuts, hår, eller liknande) som sitter fast i det främre locket när du stänger.

#### Dimhindrare för linsen

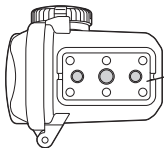
Sätt i torkenheten som säljs separat för att förhindra att kameran blir dimmig.



#### Torkenhet

Fäst torkenheten på kamerans sida.

#### Botten



Olika typer av monteringar kan fästas på botten av undervattenshuset.

## Inspelning av videobildsfler

### 1 Sätt på kameran.

- Tryck och håll nere strömknappen i mer än 2 sekunder för att sätta på kameran.

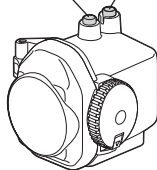
### 2 Tryck på videoinspelningsknappen.

- Tryck igen för att stoppa inspelningen.

### 3 När du är klar med inspelningen, tryck och håll nere strömknappen i mer än 2 sekunder för att stänga av kameran.

Videoinspelningsknapp

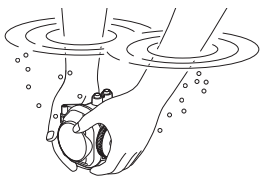
Strömknapp



## Avlägsna kameran från undervattenshuset

### 1 Skölj noggrant undervattenshuset i en behållare fylld med rent sötvatten.

- Tryck på knapparna medan undervattenshuset är nedsänkt och skölj ut smutsen från alla öppningar och spår.
- Om undervattenshuset använts i havsvatten, sänk ner undervattenshuset i rent sötvatten i minst 1 timme för att avlägsna salt.



### 2 Ta upp undervattenshuset ur vattnet och torka av vattendroppar på höljets yta med en torr trasa.

### 3 Öppna det främre locket och ta ut kameran.

#### Observera

- Vrid spännet med det främre locket vänt uppåt. Kameran kan falla ut om spännet öppnas med det främre locket vänt nedåt.
- Se till så att vattendroppar från delar som spännet och O-ringen inte kommer in i undervattenshuset.
- Om du inte kan undvika att öppna undervattenshuset vid dykplatsen, var noggrann med att inte låta vattendroppar från ditt hår eller din kropp komma in i höljet.

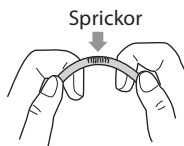
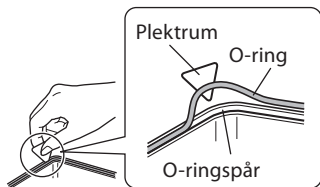
## Underhåll av undervattenshuset

### 1 Avlägsna O-ringen.

- Använd ett plektrum för att avlägsna O-ringen för att förhindra att O-ringen och O-ringspåret skadas.

### 2 Torka av all sand, allt smuts, och alla andra främmande ämnen från O-ringen.

- Rengör även O-ringspåret.
- Böj försiktigt O-ringen för att kolla efter sprickor i O-ringen.



**3 Applicera ett jämnt lager av det silikonfett som medföljer underhållsutrustningen som säljs separat på O-ringen.**

- Förvara O-ringen i en ren plastpåse för att undvika deformation när du inte använder undervattenshuset under en längre tid.

**4 Torka av insidan och utsidan av undervattenshuset med en torr trasa.**

- Använd en luddfri trasa för att torka av insidan av undervattenshuset.

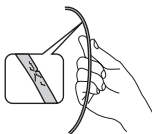
**5 Låt undervattenshuset torka helt på en plats i skugga.**

**Observera**

- Låt inte undervattenshuset ligga i direkt solsken. Det skulle kunna missfärga höljet och göra att O-ringen förslits snabbare.

**Byta ut O-ringen**

O-ringen är en förbrukningsbar del. Ersätt O-ringen med en ny varje år.



**Tillgängliga tillbehör**

- Torkenhet (WA-AF001)  
3 paket
- Underhållsutrustning (WA-MK001)
  - O-ring x1
  - Torkenhet x3
  - Silikonfett x1
  - Plektrum x1

**Specifikationer**

Maxtryck	Vattendjup upp till 40 m
Funktioner	Ström på/av Start/stopp för videoinspelning
Mått (B x D x H)	76 mm x 84 mm x 87 mm
Vikt	Ca. 140 g

- Tillämpbar kameramodell  
GC-XA1

## Для надежного функционирования данного изделия

- Убедитесь в отсутствии грязи, трещин и других повреждений на уплотнительном кольце.
- Обязательно смазывайте уплотнительное кольцо.
- Затягивая уплотнение, убедитесь, что в него не попали посторонние предметы.
- Держа бокс для подводной съемки, опускайте его в воду постепенно.
- После использования бокса для подводной съемки обязательно промойте его в свежей воде.
- Осуществляйте уход за уплотнительным кольцом.

---

JVC не несет ответственности за любые повреждения внутренней аппаратуры и материалов (видеокамеры, карты SD и т.д.) из-за протечки воды внутрь бокса для подводной съемки вследствие небрежного обращения с боксом, а также за любые повреждения вследствие этого фото/видео материалов. Поэтому, пожалуйста, обращайтесь аккуратно с боксом для подводной съемки.

## Меры предосторожности



**Перед использованием необходимо проверить данный бокс на наличие протечек воды.**

### Прочтите перед использованием

Данный бокс для подводной съемки является прецизионным устройством, обеспечивающим возможность видеосъемки в условиях высокого давления воды. Пожалуйста, соблюдайте осторожность при обращении с боксом до и после его использования, как описано в настоящей инструкции по эксплуатации.

Каждая деталь бокса для подводной съемки прошла строгий контроль в процессе производства, а отдельные функции были подвергнуты жестким испытаниям в процессе сборки. Также каждый бокс для подводной съемки прошел контроль водонепроницаемости с помощью водяных тестеров высокого давления. Но, поскольку возможно случайное повреждение бокса на этапе транспортировки и распределения или во время хранения после покупки, перед погружениями необходимо всегда выполнять предварительную проверку его надежности, как указано ниже.



## **Предварительная проверка**

**Не забудьте выполнить следующую предварительную проверку перед погружением.**

- 1. Прежде чем смонтировать камеру в боксе для подводной съемки, убедитесь в отсутствии протечек воды, выполнив погружение с пустым боксом.**

Подождите 5–6 минут, чтобы убедиться в отсутствии протечек.

Не забывайте выполнять данную проверку. Она служит гарантией сохранности вашей камеры.

- 2. Ниже перечислены некоторые наиболее частые причины протечек воды:**

- A.** Бокс для подводной съемки используется без уплотнительного кольца.
- B.** Уплотнительное кольцо закреплено в неправильном положении.
- C.** Уплотнительное кольцо повреждено или деформировано.
- D.** На уплотнительное кольцо попал песок, грязь, волос или другой посторонний предмет.
- E.** Песок, грязь, волос или другой посторонний предмет попал на поверхность контакта с уплотнительным кольцом или под крышку.
- F.** При закрытии крышки бокса для подводной съемки под ней зажало ремешок или пакетик с влагопоглотителем.

- 3. Проверяйте бокс для подводной съемки на наличие царапин и трещин при каждом использовании.**

При использовании бокс для подводной съемки противостоит давлению воды. Повторяющееся воздействие давления вызывает в конечном счете усталость материала, которая может привести к повреждению бокса для подводной съемки. Проверяйте бокс для подводной съемки на наличие царапин и трещин перед каждым использованием. Если бокс для подводной съемки используется часто, попросите выполнить его техобслуживание по месту покупки. (Техобслуживание является платным.)

Для обеспечения сохранности камеры и оптимальной эффективности использования бокса для подводной съемки имейте в виду вышеперечисленные примеры.

JVC не несет ответственности за протечки воды и повреждения чего-либо внутри бокса для подводной съемки (видеокамеры, карты SD и т.д.) вследствие небрежного обращения с данным изделием. При использовании бокса для подводной съемки обязательно следуйте предписанным процедурам.

## Подготовка

- 1 **Потяните рычаг блокировки, чтобы разблокировать застёжку.**
- 2 **Поверните застёжку против часовой стрелки, чтобы открыть переднюю крышку.**

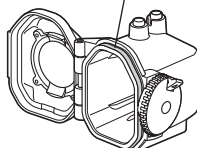
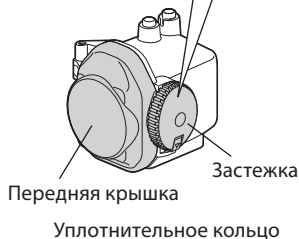
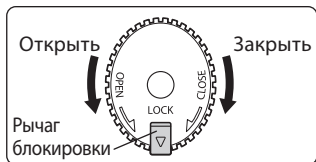
### Внимание!

- Старайтесь не повредить переднюю крышку.
- 3 **Осмотрите основной корпус на наличие царапин и трещин.**
  - 4 **Проверьте уплотнительное кольцо.**
    - Проверьте уплотнительное кольцо на наличие инородных частиц, царапин, трещин и т. п.

### Внимание!

- Не забудьте удалить инородные частицы с уплотнительного кольца.
  - Никогда не используйте уплотнительное кольцо, если на нем есть царапины или трещины.
  - Неправильное обращение с уплотнительным кольцом может привести к протечке воды.
- 5 **Когда бокс для подводной съемки будет пуст, поверните застёжку по часовой стрелке, чтобы закрыть переднюю крышку.**
    - Не забудьте потянуть вниз рычаг блокировки, чтобы заблокировать застёжку.
    - Не вставляйте камеру на этом этапе.
    - Убедитесь, чтобы при закрытии под переднюю крышку не попали инородные частицы (грязь, волосы и т. п.).
  - 6 **Погрузите бокс для подводной съемки в воду.**

Погрузите бокс для подводной съемки в ванну или контейнер, наполненный свежей пресной водой, и убедитесь, что нет протечек воды.



## Монтаж камеры в боксе для подводной съемки

- 1 **Потяните рычаг блокировки, чтобы разблокировать застёжку.**
- 2 **Поверните застёжку против часовой стрелки, чтобы открыть переднюю крышку.**

**3 Вставьте камеру в бокс для подводной съемки.**

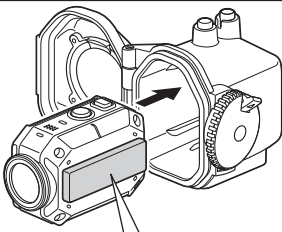
- Убедитесь, что внутри бокса для подводной съемки абсолютно сухо.
- Снимите крышку объектива с камеры.

**4 Поверните застежку по часовой стрелке, чтобы закрыть переднюю крышку.**

- Не забудьте потянуть вниз рычаг блокировки, чтобы заблокировать застежку.
- Убедитесь, что при закрытии под переднюю крышку не попали инородные частицы (грязь, волосы и т. п.).

**Антифог для объектива**

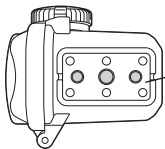
Вставьте влагопоглотитель (продается отдельно), чтобы предотвратить запотевание объектива камеры.



**Влагопоглотитель**

Прикрепите влагопоглотитель к боковой стороне камеры.

**Низ**



К нижней части бокса для подводной съемки можно прикрепить штативы различных типов.

## Запись файлов видеоизображений

**1 Включите камеру.**

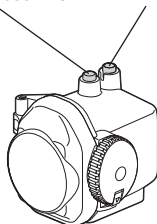
- Нажмите и удерживайте кнопку питания более 2 секунд, чтобы включить камеру.

**2 Нажмите кнопку видеозаписи.**

- Нажмите кнопку снова, чтобы остановить запись.

**3 По завершении записи нажмите и удерживайте кнопку питания более 2 секунд, чтобы выключить камеру.**

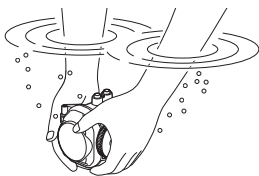
Кнопка видеозаписи      Кнопка питания



## Извлечение камеры из бокса для подводной съемки

### 1 Тщательно промойте бокс для подводной съемки в контейнере, наполненном свежей пресной водой.

- Пока бокс для подводной съемки находится в погруженном положении, нажимайте кнопки и вымойте грязь из всех зазоров и пазов.
- Если бокс для подводной съемки использовался в морской воде, то для удаления соли погрузите его не менее чем на 1 час в свежую пресную воду.



### 2 Вылейте из бокса для подводной съемки всю воду и вытрите капли воды на его поверхности сухой салфеткой.

### 3 Откройте переднюю крышку и извлеките камеру.

#### Внимание!

- Когда поворачиваете застежку, следите, чтобы передняя крышка была направлена вверх. Если поворачивать застежку, когда передняя крышка направлена вниз, камера может выпасть.
- Следите за тем, чтобы капли воды с таких деталей, как застежка и уплотнительное кольцо, не попали в бокс для подводной съемки.
- Если бокс для подводной съемки необходимо открыть рядом с местом погружения, проследите, чтобы в него не попали капли воды с волос или тела.

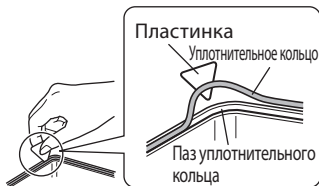
## Уход за боксом для подводной съемки

### 1 Извлеките уплотнительное кольцо.

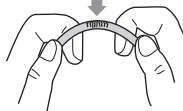
- Извлеките уплотнительное кольцо с помощью пластинки, чтобы не повредить уплотнительное кольцо и его паз.

### 2 Удалите весь песок, пыль или иные инородные частицы с уплотнительного кольца.

- Очистите также паз уплотнительного кольца.
- Аккуратно согните уплотнительное кольцо и проверьте, нет ли на нем трещин.



Трещины



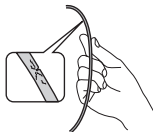
- 3** Нанесите на уплотнительное кольцо равномерным тонким слоем силиконовую смазку, входящую в комплект для ухода (продается отдельно).
  - Если бокс для подводной съемки не используется длительное время, храните уплотнительное кольцо в чистом пластиковом пакете во избежание деформации.
- 4** Сухой салфеткой протрите бокс для подводной съемки изнутри и снаружи.
  - Чтобы протереть бокс для подводной съемки изнутри, воспользуйтесь не оставляющей ворс тканью.
- 5** Оставьте бокс для подводной съемки в затененном месте до полного высыхания.

#### **Внимание!**

- Не оставляйте бокс для подводной съемки под прямыми солнечными лучами. Это может привести к обесцвечиванию бокса и ускорению процесса износа уплотнительного кольца.

#### **Замена уплотнительного кольца**

Уплотнительное кольцо относится к расходным материалам. Ежегодно заменяйте уплотнительное кольцо на новое.



#### **Доступные аксессуары**

- Влагопоглотитель (WA-AF001)  
3 пакета
- Комплект для ухода (WA-MK001)
  - Уплотнительное кольцо 1 шт.
  - Влагопоглотитель 3 шт.
  - Силиконовая смазка 1 шт.
  - Пластинка 1 шт.

### **Технические характеристики**

Максимальное давление	Глубина воды до 40 метров
Органы управления	Включение/выключение питания Пуск/стоп видеозаписи
Размеры (Ш x Г x В)	76 мм x 84 мм x 87 мм
Вес	Приблизительно 140 г

- Применяемая модель камеры GC-XA1

## Czynności niezbędne do bezpiecznego użytkowania tego produktu

- Sprawdź, czy pierścień uszczelniający nie jest uszkodzony, zabrudzony lub pęknięty.
- Na pierścień uszczelniający należy zawsze nakładać smar.
- Podczas dokręcania uszczelki, sprawdź, czy nie znajdują się na niej jakieś zabrudzenia.
- Zanurz obudowę do nurkowania powoli w wodzie.
- Należy zawsze myć obudowę w świeżej wodzie po zakończeniu użytkowania.
- Wykonaj czynności konserwacyjne pierścienia.

---

Jeśli z powodu niedbałego użytkowania obudowy do nurkowania do wewnątrz dostanie się woda, firma JVC nie będzie odpowiedzialna za jakiegokolwiek uszkodzenia sprzętu i akcesoriów znajdujących się wewnątrz (kamera, karta SD, itp.) lub za koszty powstałe podczas nagrywania filmu lub fotografowania. Dlatego należy ostrożnie obchodzić się z obudową do nurkowania.

## Środki bezpieczeństwa



**Przed rozpoczęciem użytkowania należy sprawdzić, czy nie występują przecieki.**

### **Przeczytaj przed rozpoczęciem użytkowania**

Poniższa obudowa do nurkowania to precyzyjny instrument przeznaczony do nagrywania filmów pod dużym ciśnieniem występującym pod wodą. Należy zwrócić szczególną uwagę na odpowiednie postępowanie z instrumentem przed i po jego użyciu zgodnie z instrukcją obsługi. Każda część obudowy do nurkowania była dokładnie kontrolowana podczas produkcji i poddana najbardziej surowym testom podczas montażu. Każda część obudowy musiała również przejść przez kontrolę wodoszczelności w testach pod wysokim ciśnieniem. Jednakże czasami podczas transportu, dystrybucji oraz podczas magazynowania po zakupie może powstać uszkodzenie, i dlatego należy wykonać przed użyciem poniższy wstępny test.

## Wstępny test

Należy wykonać poniższy test wstępny przed rozpoczęciem nurkowania.

### 1. Przed zamontowaniem kamery w obudowie, zanurkuj z pustą obudową i sprawdź, czy występują przecieki.

Poczekaj 5 lub 6 minut, aby upewnić się, że nie występują przecieki.

Należy zawsze wykonywać ten test dla bezpieczeństwa kamery.

### 2. Oto najczęstsze przyczyny przecieków wody:

- A. Obudowa do nurkowania jest używana bez pierścienia uszczelniającego.
- B. Pierścień uszczelniający jest zamontowany w nieprawidłowej pozycji.
- C. Pierścień uszczelniający jest uszkodzony lub zdeformowany.
- D. Na pierścieniu uszczelniającym znajduje się piasek, brud, włosy lub inne ciała obce.
- E. Na wewnętrznej części pokrywy lub na powierzchni stykającej się z pierścieniem uszczelniającym znajduje się piasek, brud, włosy lub inne ciała obce.
- F. Pasek lub torebka ze środkiem osuszającym są przyciśnięte pokrywą w obudowie do nurkowania.

### 3. Sprawdź przed każdym użytkowaniem, czy na obudowie nie ma zarysowań lub pęknięć.

Obudowa do nurkowania musi osłaniać kamerę przed ciśnieniem wodnym. Wielokrotne wystawianie obudowy na działanie ciśnienia prowadzi w końcu do zmęczenia materiału, co może spowodować uszkodzenie obudowy. Przed każdym użytkowaniem obudowy sprawdź, czy widoczne są zarysowania lub pęknięcia. W przypadku częstego używania obudowy należy przeprowadzić konserwację najlepiej w miejscu zakupu. (Konserwacja jest płatna.)

Należy pamiętać o powyższych przyczynach przecieków, aby chronić kamerę i zapewnić jej wydajną pracę.

Firma JVC nie będzie odpowiedzialna za przecieki lub uszkodzenie przedmiotów znajdujących się wewnątrz obudowy (kamera, karta SD, itp.) z powodu niedbałego użytkowania tego produktu. Należy przestrzegać odpowiednich instrukcji podczas użytkowania obudowy do nurkowania.

## Przygotowanie

- 1 Aby odblokować klamrę, pociągnij dźwignię blokującą.**
- 2 Aby otworzyć przednią pokrywę, obróć klamrę w kierunku przeciwnym do ruchu wskazówek zegara.**

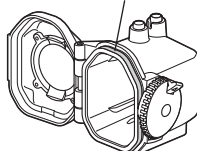
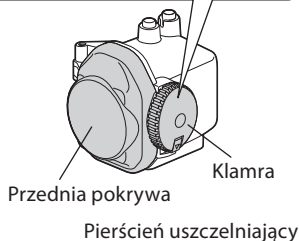
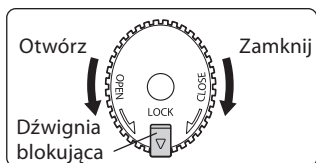
### Uwaga

- Zwróć uwagę na to, aby nie uszkodzić pokrywy.
- 3 Sprawdź, czy na obudowie nie ma zarysowań ani pęknięć.**
  - 4 Sprawdź pierścień uszczelniający.**
    - Sprawdź, czy pierścień nie jest popękany ani wyszczerbiony i czy nie znajdują się na nim żadne ciała obce.

### Uwaga

- Pamiętaj, aby usunąć wszelkie ciała obce z pierścienia uszczelniającego.
  - Jeśli pierścień jest popękany lub wyszczerbiony, nie wolno go używać.
  - Nieprawidłowe przygotowanie pierścienia może spowodować przeciekanie wody.
- 5 Nie wkładaj niczego do obudowy do nurkowania. Obróć klamrę w kierunku ruchu wskazówek zegara, aby zamknąć przednią pokrywę.**
    - Upewnij się, że dźwignia blokująca została dociśnięta, a klamra — zablokowana.
    - Nie wkładaj jeszcze kamery.
    - Sprawdź, czy zamykanie przedniej pokrywy nie spowodowało przytrzaśnięcia żadnych ciał obcych (kurzu, włosów, itp.).
  - 6 Zanurz obudowę do nurkowania pod wodą.**

Włóż obudowę do nurkowania do wanny lub pojemnika wypełnionego świeżą wodą i sprawdź, czy nie ma przecieków.



## Nakładanie obudowy do nurkowania na kamerę

- 1 Aby odblokować klamrę, pociągnij dźwignię blokującą.**
- 2 Aby otworzyć przednią pokrywę, obróć klamrę w kierunku przeciwnym do ruchu wskazówek zegara.**



### 3 Włóż kamerę do obudowy.

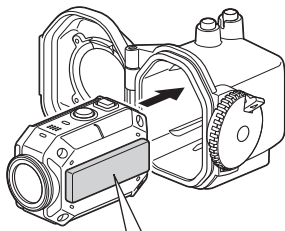
- Wytrzyj dokładnie wewnątrz obudowy do nurkowania suchą szmatką.
- Zdejmij pokrywę z obiektywu z kamery.

### 4 Otwórz przednią pokrywę, obracając klamrę w kierunku zgodnym z ruchem wskazówek zegara.

- Upewnij się, że dźwignia blokująca została dociśnięta, a klamra — zablokowana.
- Sprawdź, czy zamykanie przedniej pokrywy nie spowodowało przytrzaśnięcia żadnych ciał obcych (kurzu, włosów, itp.).

#### Powłoka przeciwmgielna obiektywu

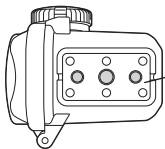
Aby zapobiec powstawaniu mgły na obiektywie kamery, włóż sprzedawany oddzielnie środek osuszający.



#### Środek osuszający

Przymocuj środek osuszający z boku kamery.

#### Spód



Do obudowy do nurkowania można przymocować różne rodzaje mocowań.

## Nagrywanie filmów

### 1 Włącz kamerę.

- Aby włączyć kamerę, naciśnij przycisk zasilania i przytrzymaj go przez dłużej niż 2 sekundy.

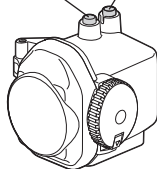
### 2 Naciśnij przycisk nagrywania filmu.

- Aby zatrzymać nagrywanie, naciśnij przycisk ponownie.

### 3 Aby wyłączyć kamerę po zakończeniu nagrywania, naciśnij przycisk zasilania i przytrzymaj go przez dłużej niż 2 sekundy.

Przycisk nagrywania filmu

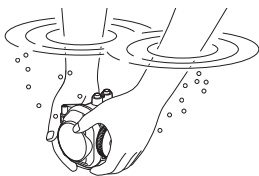
Przycisk zasilania



## Wymywanie kamery z obudowy do nurkowania

### 1 Wypłucz dokładnie obudowę do nurkowania w pojemniku wypełnionym świeżą wodą.

- Naciskając przyciski i poruszając dźwigniami, gdy obudowa jest zanurzona, wypłucz kurz ze szpar, rowków, itp.
- Jeśli obudowa do nurkowania była używana w wodzie morskiej, zalecamy zanurzenie jej w świeżej wodzie na przynajmniej godzinę w celu wypłukania soli.



### 2 Wymij obudowę do nurkowania z wody i wytrzyj suchą szmatką krople z obudowy.

### 3 Otwórz przednią pokrywę i wyjmij kamerę.

#### Uwaga

- Ustaw przednią pokrywę do góry i obróć klamrę. Jeśli klamra zostanie otworzona przy innym położeniu przedniej pokrywy, kamera może wypaść z obudowy.
- Zwróć uwagę na to, aby krople wody nie przedostały się na sprzączkę, na pierścień uszczelniający ani do środka obudowy.
- Jeśli nie możesz uniknąć otwierania obudowy do nurkowania w miejscu nurkowania, zwróć uwagę, aby krople wody z włosów oraz ciała nie wpadły do środka obudowy.

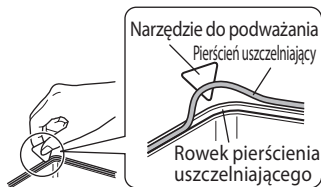
## Konserwacja obudowy do nurkowania

### 1 Zdejmij pierścień uszczelniający.

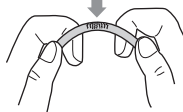
- Używając narzędzia do podważania, zdejmij pierścień uszczelniający. Zapobiegnie to uszkodzeniu pierścienia i jego rowka.

### 2 Wytrzyj z pierścienia piasek, kurz i inne ciała obce.

- Pamiętaj, aby wyczyścić także rowek pierścienia uszczelniającego.
- Sprawdź, czy pierścień uszczelniający nie jest popękany, wyginając go delikatnie.



Pęknięcia



**3 Nałóż na pierścień uszczelniający równą, cienką warstwę smaru silikonowego dołączonego do sprzedawanego oddzielnie zestawu akcesoriów.**

- Schowaj pierścień uszczelniający do czystej, plastikowej torebki, aby uniknąć zniekształceń spowodowanych długim nieużywaniem obudowy do nurkowania.

**4 Wytrzyj wewnętrzną i zewnętrzną stronę obudowy do nurkowania suchą szmatką.**

- Wnętrze obudowy do nurkowania należy wytrzeć za pomocą szmatki niepozostawiającej włókien.

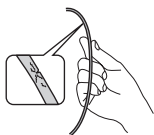
**5 Odłóż obudowę do nurkowania w zacienione miejsce i poczekaj na jej wyschnięcie.**

**Uwaga**

- Nie wolno pozostawiać obudowy do nurkowania na słońcu. W przeciwnym wypadku obudowa ulegnie odbarwieniu, zaś czas eksploatacji pierścienia uszczelniającego zostanie skrócony.

**Wymiana pierścienia uszczelniającego**

Pierścień uszczelniający jest materiałem eksploatacyjnym. Co roku należy wymieniać pierścień na nowy.



**Dostępne akcesoria**

- Środek osuszający (WA-AF001)  
3 zestawy
- Zestaw akcesoriów (WA-MK001)
  - Pierścień uszczelniający x1
  - Środek osuszający x3
  - Smar silikonowy x1
  - Narzędzie do podważania x1

**Dane techniczne**

Maksymalne ciśnienie	Głębokość wody do 40 metrów
Funkcje	Włączanie i wyłączanie zasilania Rozpoczynanie/zatrzymywanie filmowania
Wymiary (szer. x głęb. x wys.)	76 mm x 84 mm x 87 mm
Waga	Ok. 140 g

- Pasujący model kamery GC-XA1

**JVC**